



令和4年度補正品目団体輸出力強化緊急支援事業のうち
「マイクロマーケットリサーチ等によるマーケットニーズの把握」事業
ー日本青果物の流通状況に関わるマンスリーレポートー
(2023年7月)

主催：(一社)日本青果物輸出促進協議会
運営事務局：ABC Style



事業概要

事業名

令和4年度補正品目団体輸出力強化緊急支援事業のうち「マイクロマーケットリサーチ等によるマーケットニーズの把握」

目的

海外において日本産青果物およびその加工品を扱う量販店等の店頭価格等を把握、今後の販促活動に活用することにより輸出促進を図る。各国・地域の個人消費者が日本青果物を購入する理由と行動を調査することにより、生産者の今後の販売促進に役立つ情報を提供する。

本事業の実施事項

- (1) 量販店調査
 - ①店頭調査
 - ②購入・試食調査
 - ③利用状況のSNS発信

- (2) レストラン・カフェ調査
 - ①店頭調査
 - ②喫食したメニューや喫食風景のSNS発信



(定期報告事項)

- I. 日本青果物の流通状況とモニター評価
 - ・モニター属性と購入果物
 - ・リピート購入可能性と理由
- II. 同一外国産との比較（消費者コメント）
- III. 小売／外食／SNSにおけるトレンド
 - ・小売でのPR施策
 - ・外食での日本産青果物の消費状況
 - ・SNSでの投稿の様子

(非定期報告事項)

- IV. 日本産青果物に対する印象や国ごとの特徴

対象国および期間中の調査実施頻度

量販店調査 月1回 6店舗 / レストラン・カフェ調査 月1回 6店舗
※ただし、各国・地域の状況により、調査店舗数の変動可能性あり

香港

台湾

シンガポール

タイ

マレーシア

ベトナム

対象青果物

りんご、ぶどう、もも、かんきつ、かき、なし、いちご、かんしょ、メロン、ながいも



調査対象青果物スケジュール

対象日本青果物の輸出時期に合わせて、加工品も含めてリサーチを実施予定

日本産青果物 出荷時期カレンダー

輸出時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
りんご					お盆				お正月			
ぶどう												
もも												
みかん												
かき												
なし												
いちご												
さつまいも												
メロン												
ながいも												
調査対象 青果物名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
加工品 対象想定			りんご ぶどう もも メロン	りんご ぶどう もも なし メロン	りんご ぶどう もも なし	りんご ぶどう もも かき なし	りんご ぶどう かき なし かんしょ ながいも	りんご ぶどう かんきつ かき かんしょ ながいも	りんご かんきつ かき いちご かんしょ ながいも	りんご かんきつ いちご かんしょ ながいも	りんご かんきつ いちご ながいも	
量販店、 レストラン やカフェ での リサーチ 実施				ジャム、ドライフルーツ、100%ジュース、ピューレ、一次加工品など								
SNS							香港					
							台湾					
							シンガポール					
							タイ					
							マレーシア					
							ベトナム					
							SNSへの写真投稿					



7月の調査結果サマリ

調査項目	調査対象国		
	香港	台湾	シンガポール
I. 日本産青果物の 印象や購買動向	●梨、メロン、もも、りんご、ぶどう、等多様な品種・産地の日本産青果物が流通 ●モニターのリピート購買意向は100%で、贈答、日常喫食、等様々な用途で購買されてる	●香港と同様に多様な品種・産地の日本産青果物が流通し、温室みかん、長芋なども販売 ●モニターのリピート購買意向も100%で、香港よりは値引きへの感度が高い	●ぶどう、もも、メロン等の夏から旬となる日本産青果物が多く流通 ●価格の高さを主因にモニターの半数はリピート購買しないと回答 ●リピート志向層は贈答、食事会など多様な用途での購入を想定
II. 同一外国産 との比較	●カナダ産りんご、中国産ももとの比較で、日本産が高評価を受けるものの再購入は価格次第 ●甘みのみでない味の濃度や甘酸っぱさの特徴、香りも評価要素となっている	●台湾産メロンとの比較では、味・見た目の評価が高く、贈答用として優先的に選択するとの評価 ●豪州産みかんとの比較では、甘すぎず、ジューシーで、皮も向きやすいと日本産再購入したいとのこと	●中国産シャインマスカット、韓国産ももとの比較では、外国産が及第点／同等以上の評価を獲得 ●特別な贈答などの場合を除き、外国産を選択するとの意向がみられた
III. 小売／外食／SNS におけるトレンド	●南アメリカのフードフェスティバル、アメリカ産のサクランボやももの販促が小売では見られた ●シャトレゼ、モンシエル等の日系洋菓子店ではももやメロンなどの旬の青果物を用いた商品フェアを開催	●台湾産のメロン、ニュージーランド産のりんご等のディスカウントオファー、POP掲示が見られた ●創作和菓子の宗家源吉兆庵では、マスカット等を用いた大福などの商品が好評となっている	●小売店の大規模なPRはなく、定期のディスプレイプロモーション ●Cold storageで父の日に絡めた日本産メロンの販促を実施 ●日本飲食FC事業を営むJapan Foods HoldingがFruit Paradiseというタルトショップを運営、日本パティシェも加わり、日本産青果物を使ったタルトが人気
IV. 日本産青果物の印象	●見た目の良さ、新鮮さと味に対する評価は非常に高い ●パッケージ、価格は低評価はないものの、継続的な努力は必要と想定される	●香港と同様の傾向であり、品質面での訴求は十分できているため、パッケージや価格などでの納得感を高める継続的な工夫・努力が必要	●概ね高評価だが、香港・台湾と比較すると、新鮮さへの評価が相対的に低く、価格の納得度も低い層が多い

調査項目	タイ	マレーシア	ベトナム
I. 日本産青果物の 印象や購買動向	●ぶどう、りんご、ももに加え、かんしょの流通も見られた ●6名中5名が再購入意向あり、贈答用に加え、値引き時には日常喫食用にと答えている ●再購入しないとの回答理由は、見た目と価格への不満	●日本産もも、メロン、ぶどう、梨などが流通 ●5名中2名が、鮮度を理由に再購買はしないと回答 ●一方で、購入する可能性が「ある」との回答については、自分へのご褒美や、贈答用に、値引きなどを勘案して購入すること	●現地で日本産青果物の販売は確認することができなかった ●ローカル系フルーツに加え、Lotte martでは韓国産、米国産の青果物が販売されている ●ジュースなどの加工品は流通
II. 同一外国産 との比較	●タイ国産ぶどう、ニュージーランド産りんごとの比較を実施 ●味や新鮮さなども国産、外国産で十分満足ではあるものの、異なるセグメントとして認知されており、用途に応じ購入されている模様	●スペイン産ももとの比較では大きく評価を引き離し、再購入や更なる拡販可能性が感じられた ●他方、オーストラリア産メロンとの比較では、味などは同程度だが、鮮度で大きく評価を落としている	●比較はできなかったが、現行国産や他外国産を消費しているモニターも同品種の日本産への興味や購買意欲は存在
III. 小売／外食／SNS におけるトレンド	●ドン・キホーテではかんしょの大々的な陳列に加え、タイ産のNAVITA MELONが両国国旗を添えて販売されている ●スペシャルティコーヒーを特徴として人気となっているカフェ「Lynx Coffee」では、「和歌山産白桃タルト」が販売されている	●ゼスプリやENVYなどの大手企業による販促が目立つ ●マレーシア産のちとせめろんのパッケージ(『ちとせめろん』)、中国産のシャインマスカットのパッケージ(晴王ズドゥ)等が日本産の誤解を招くものとして検知された	●外国産青果のディスカウントオファーが各所であり、ENVY りんごは特設ブースも設置 ●シャトレゼでは、ふじりんごを用いたアップルパイのフェアを実施
IV. 日本産青果物の印象	●全体的に、前項の3か国よりも評価は落ちる傾向 ●特に、パッケージに対する評価が低く、改善の余地が大きい可能性がある	●見た目の良さやパッケージについての評価は高い一方で、新鮮さ、味の面での不満足との評価が他国よりも少し目立つ	●ー(流通が確認できなかったため、今回は評価不能)



以下、JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報（香港）」より、青果物に関する項目をまとめた内容

味覚、嗜好上の特徴	・甘味をおいしいと認識する傾向 (ただし甘すぎるものは苦手)、酸味のあるものは苦手 ・プライベートパーティーで日本酒も含めて、アルコールをある程度飲む ・米飯とおかずは基本的に分けられていることが多く、特に家庭においてはおかずを取って白飯の上にのせて食べることが多い ・個々の食品にまつわるうんちくに左右されやすい
制度的制約	・関税：一部の物品税を除き、通常は関税がかからない ・食品栄養表示義務があり、トレーサビリティ制度が施行されている ・残留農薬の基準はCODEX規格に基づいており、食品混入不純物や食品有害物質に関する規則も改正されている ・加工食品については日本と香港の間で衛生証明書の様式が合意されている 〈原発関連規制〉 【牛乳、乳飲料、野菜、果物】福島県産：輸入停止。茨城県、栃木県、群馬県、千葉県産：放射性物質検査証明書及び輸出事業者証明書を要求 【加工食品】上記5県産：香港にて放射性物質サンプル抜き打ち検査 【全ての食品】上記5県産を除く都道府県産：香港にて放射性物質サンプル抜き打ち検査 ※規制に関しては、変更されることがあるので実際に輸出する前にその内容を確認することが必要です。
商流・物流・商習慣	・スーパーマーケット業界では、地元資本のDairy FarmとA.S.Watsonが7割以上のシェアを占める複占状態である ・日本からの生鮮食品は日系スーパーマーケットが主に取り扱いっており、近年は地元系高級スーパーマーケットでも増えてきている。加工食品は全レベルのスーパーマーケットで取り扱われている ・コロナ影響で家庭内消費の増加に伴い、ネット通販の利用者が増え、調味料、鶏卵、加工品等の手軽に食べられる食品が人気。高層住宅が多いため、宅配しやすく、軽く、壊れにくい包装容器 (紙、プラスチック、ペットボトル) が好まれる ・他国への物流中継拠点としての機能も持っている ・加工食品の賞味期限は一般的に4カ月以上必要である ・旧正月、中秋節に食品のギフトを贈る習慣がある (旧正月は水産乾物、フルーツ、箱詰菓子等。中秋節は主に月餅、フルーツ等)
外食・小売等の状況	・Uber Eats, Deliveroo, Foodpanda等デリバリーサービスの利用がより増加した ・レストランのテイクアウトの利用者の増加が顕著 ・自炊が増えた。また、高級食材を購入して、自宅で楽しむ傾向が増えた ・デリバリーサービスの利用がより増加。レストランでも一部デリバリーサービスを始めたところがある
日本食普及状況等	・日本産食品の種類と量が豊富で、成熟市場として存在している ・日本料理は中華料理や西洋料理と同じくらいのプレゼンスを持ち、特にラーメン店や寿司チェーン店では行列ができるほど人気。香港における日本外食業の進出にも多くの問い合わせがある

出典：JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報」（香港）



香港

量販店・試食調査結果

質問項目		回答					
		モニター 1		モニター 2		モニター3	
購入店舗名 (アンケート場所)		APITA		AEON		YATA Supermarket	
店舗属性		日系スーパー		日系スーパー		日系スーパー	
日本青果物の販売状況	りんご	日本産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	ぶどう	日本産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	もも	日本産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	かんきつ	日本産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	柿	販売なし		販売なし		販売なし	
	梨	他国産		販売なし		他国産	
	いちご	日本産		販売なし		日本産／他国産	
	かんしょ	他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	メロン	他国産		日本産／他国産		日本産	
	長芋	販売なし		日本産／他国産		日本産	
購入青果物の概要	購入した青果物 (当日)	梨	メロン	もも	ぶどう	りんご	もも
	品種	王秋梨	クラウンメロン	とれたてプレミアム桃	シャインマスカット	陸奥りんご	笛吹のもも
	産地	鳥取	静岡	山梨	山梨	青森	山梨
	購入価格	199 HKD/2個 (3,592 JPY/2個)	399 HKD (7,202 JPY)	149 HKD/2個 (2,689 JPY/2個)	179 HKD (3,231 JPY)	68 HKD/2個 (1,227 JPY/2個)	158 HKD/6個 (2852 JPY/6個)
	糖度	11.3%	14.6%	12.9%	19.8%	13.3%	13.2%

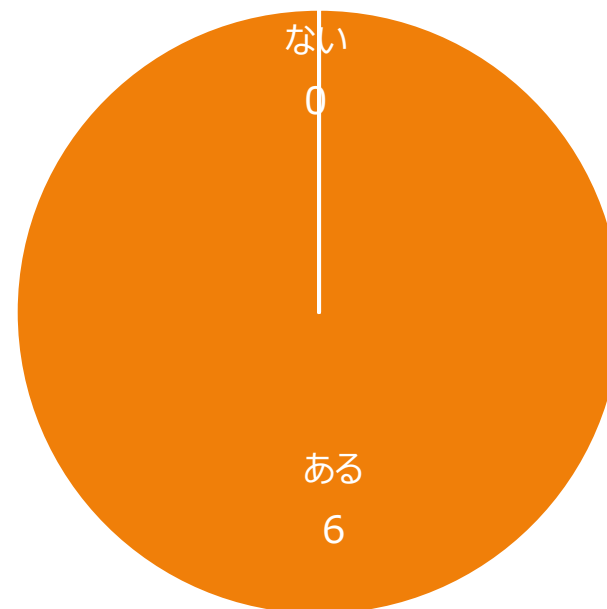


I. 日本青果物の流通状況とモニター評価：リピート購入可能性と理由

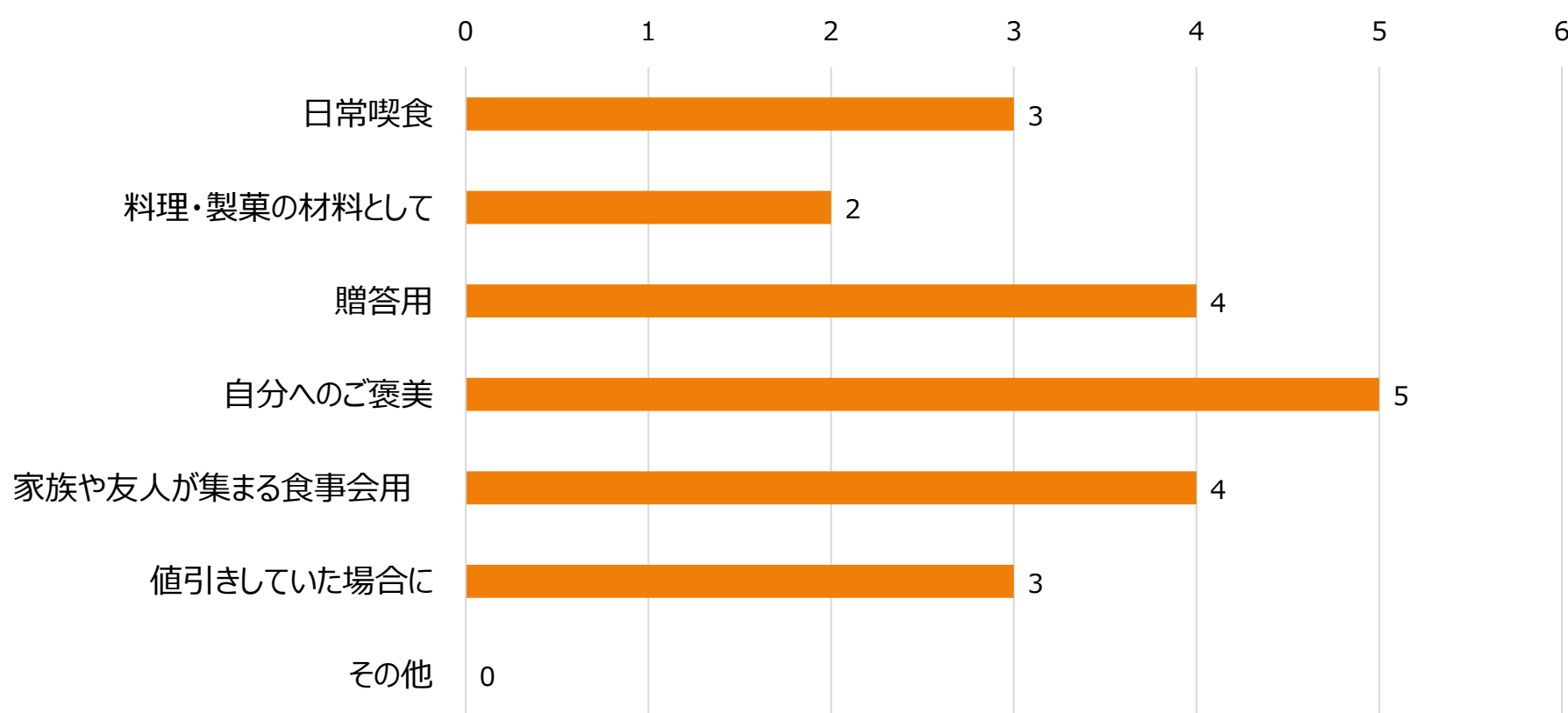
HK

- 香港では、今回調査したモニターは全て、同じ種類の日本産青果物をリピート購入の可能性があるとの意見であった
- 贈答や食事会への手土産のみでなく、自分へのご褒美や日常喫食としても購入を検討するとの意見があった

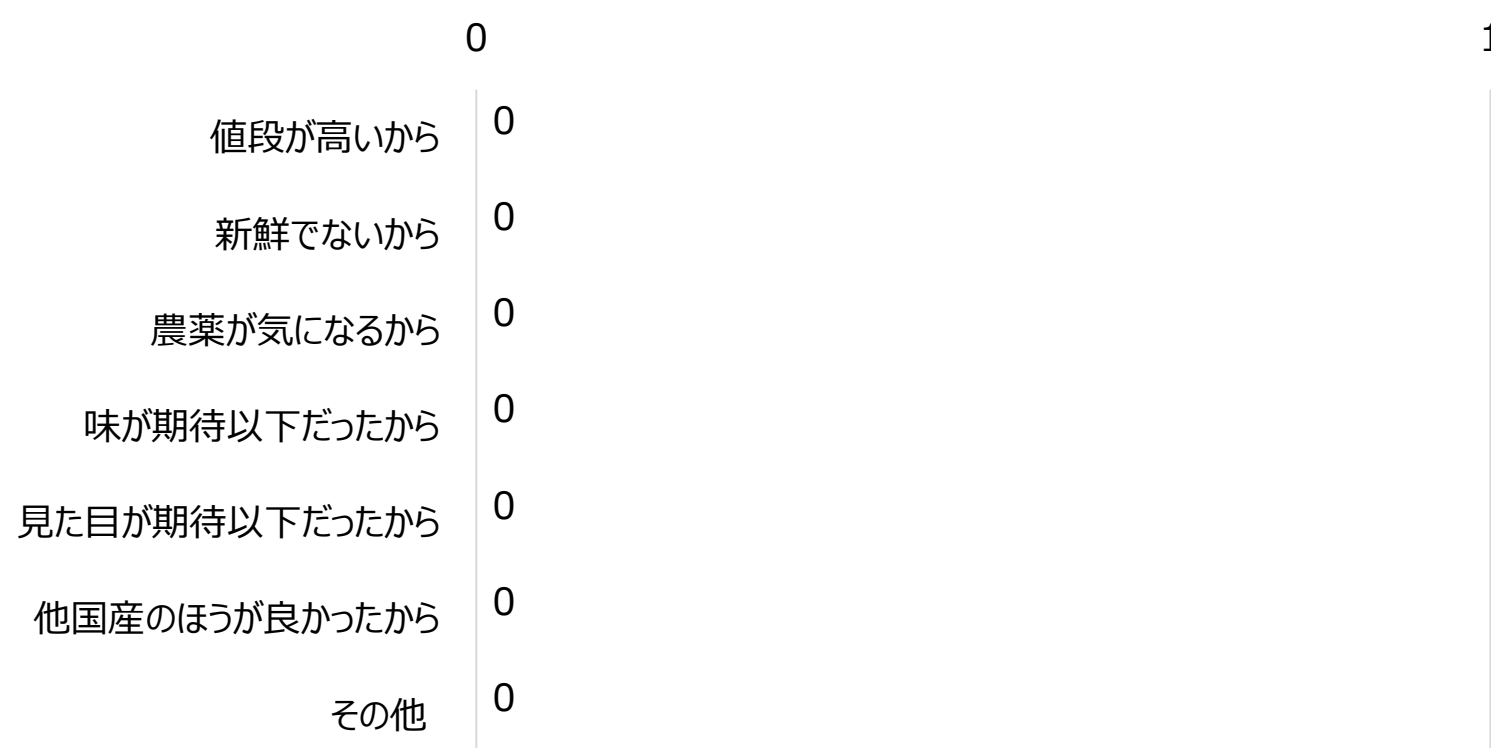
今後、同じ日本産青果物を買う可能性はありますか（N=6）



リピート購買理由／動機（N=6、複数回答可）



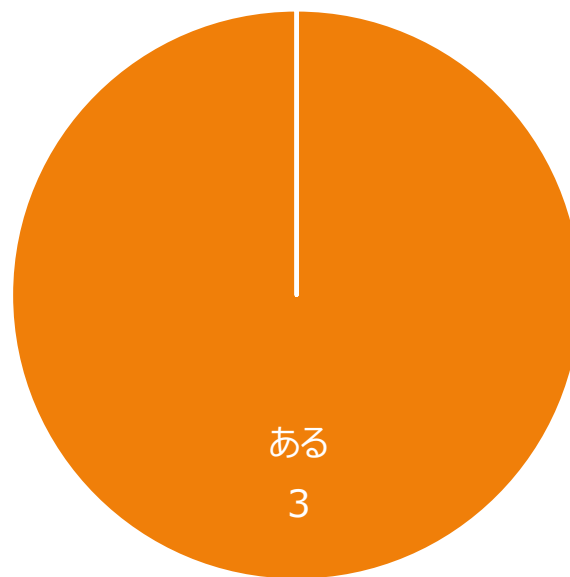
リピート非購買理由／動機（N=0、複数回答可）



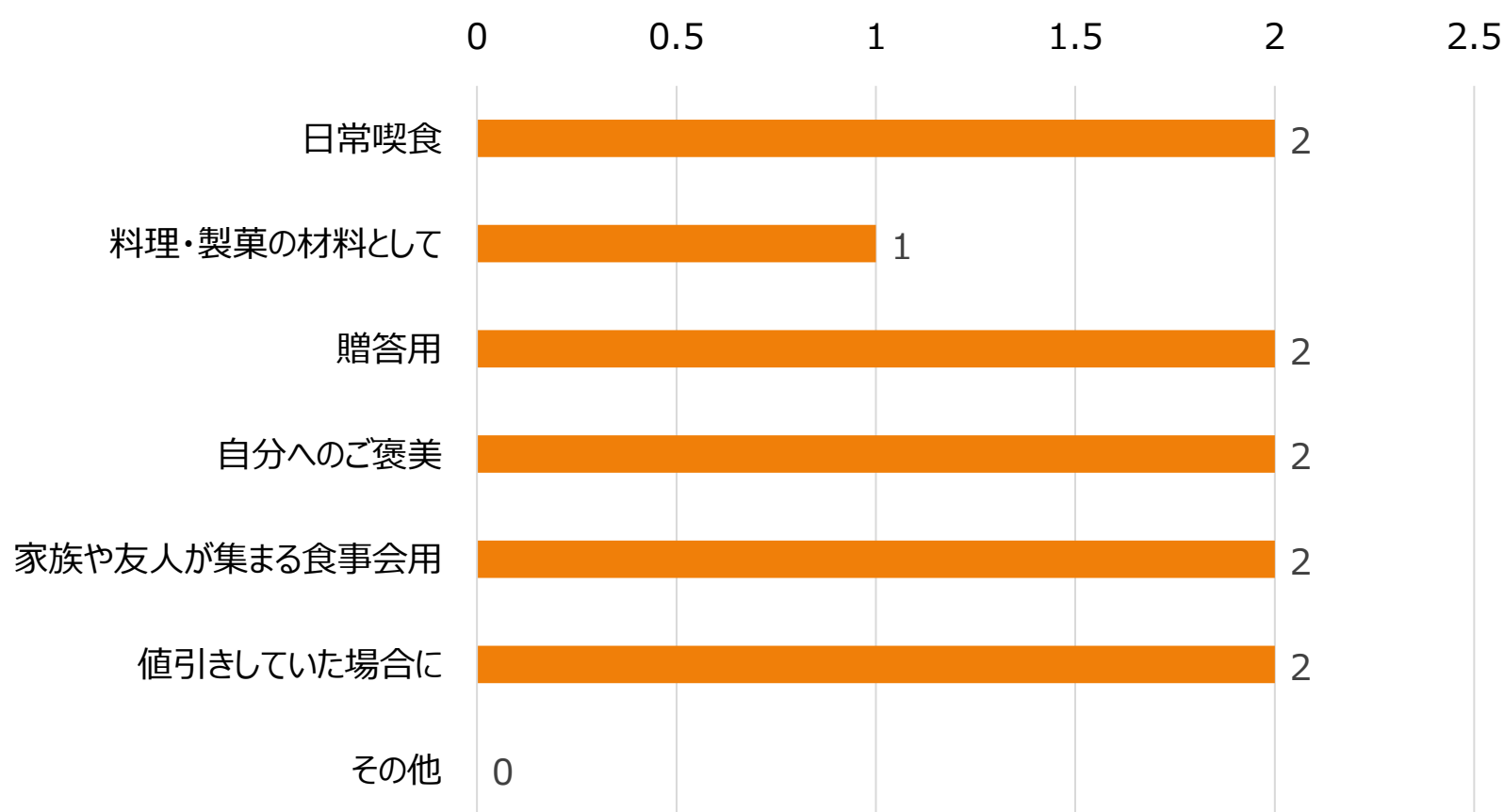
- もも、りんご、みかんを使用した加工品が見られた（酒・ゼリー・ジュース・ドライフルーツ）
- 日常喫食やセールの場合に購入するといった回答があった一方で、生鮮品と同様に、贈答用や自分へのご褒美、家族や友人とのご飯会用などの特別なときに購入したという需要も見られる



今後、この加工品を買う可能性はありますか（N = 3）



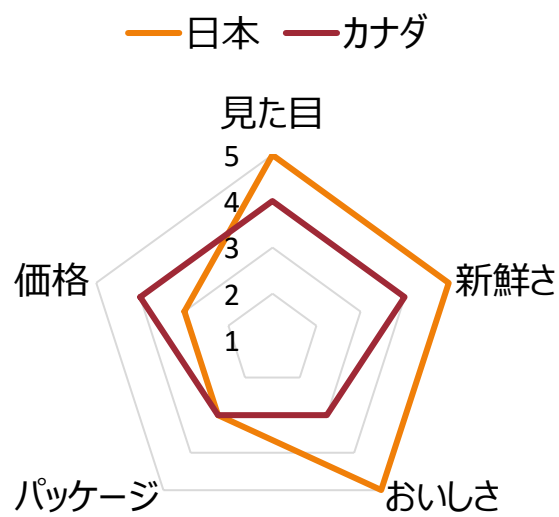
購買理由／動機（N=3、複数回答可）





Ⅱ.同一外国産との比較 (消費者コメント)ーりんご・もも

HK



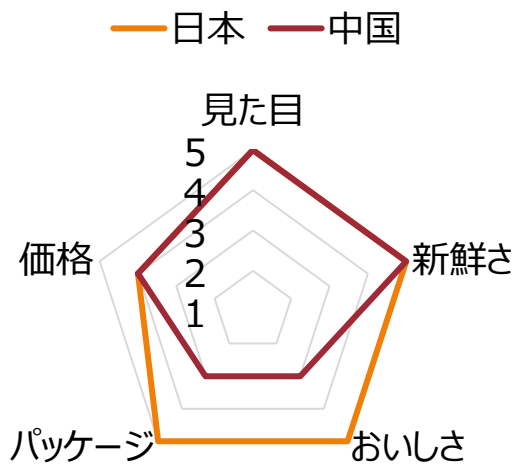
比較評価コメント

- ・日本産のりんごは香りが強く、爽やかな甘酸っぱさも特徴的
- ・比較して、カナダ産のりんごは味が薄く、香りもあまりしない
- ・ただし、日本産は値段があまりにも高すぎる場合には再購入はためらう

品目比較による示唆

- ・青果物の香りを意識する消費者も存在し、味の濃度とともに購買判断の一因となっている

品種	陸奥りんご（青森）	アンブロシアアップル（カナダ）
写真		
価格	68 HKD/2個 (1,227JPY/2個)	39.8 HKD/900g (718JPY/900g)
糖度	13.3%	11.2%



比較評価コメント

- ・パッケージとおいしさに関しては、日本産の方が評価が高いが、見た目、新鮮さ、価格などの評価は、中国産のもと同程度
- ・日本産／中国産ともに再購入は値段次第

品目比較による示唆

- ・消費者の中には価格センシティブ、かつ、総合評価として青果物の購買決定をする層が存在
- ・このケースでも、総合評価が高い日本産と低い価格も安い中国産は状況に応じて価格妥当性あれば買うとの評価

品種	とれたてプレミアム桃（山梨）	もも（中国）
写真		
価格	149 HKD (2,689JPY/2個)	24.9 HKD (718JPY/2個)
糖度	12.9%	7.3%

- 南アメリカのフードフェスティバルの催しが開催されており、また、アメリカ産のサクランボやももなどのPRも実施されていた
- 調査のタイミングでディスカウントオファーなどがあった調査対象青果物とその原産国・価格は以下のとおり

項目	①
原産国	アメリカ
青果物	もも
販売価格	42.8 HKD (773 JPY/ パック)
販売場所	YATA Supermarket



- 現地AEONではスイカフェア等、様々なフェアが開催されており、日本語で書かれたバナーやのぼり等の工夫や、スイカの上に顔シールが貼るなどの顧客アピールが見られた
- 現地APITAでは「出発！味遊日本」(和訳：出発！日本でのグルメ旅) というのぼりが飾られていた。日本語で書かれた飾り版やのぼりなどを使って、北海道産のドライフルーツを大々的に宣伝している。
- 現地YATA Supermarketでは日本語で書かれたのぼりや飾り版を使って、もも・りんご・スイカなどの果物の宣伝が行われていた



- 日本のスイーツショップシャトレゼ(Châteraisé)は香港にも多く出店しており、安価に日本産青果物を使ったスイーツを楽しめると現地でも人気となっている
- シャトレゼでは「山梨県産白桃フェア」が開催されており、山梨県産白桃のスフレチーズケーキ（14cm：165HKD/2,978JPY）などが販売されていた。また、日本のふじりんごを使用したプレミアムアップルパイ（1個：40HKD/722円）も販売されていた。桃は香りが濃厚で甘くてジューシーだったと高評価であった。



- 日本のスイーツショップモンシェールは香港にも出店しており、期間限定で日本産メロンを使ったフェアが実施されていた
- 日本産赤肉メロンの堂島ロール（セール：228HKD/4,115JPY）等が販売されていた



日本産青果物を試食した様子、外食のレストランやカフェの購入店舗の情報や、商品についての説明などを紹介
※いいね・コメント数は2023年7月31日時点

量販小売店舗より購入後自宅での喫食体験のSNS情報配信



いいね 58件

山梨 もも Instagram (@fungcandice_abc)
白桃パフェをつくって家族とシェア



いいね 23件
コメント 4件

JA山梨 シャインマスカット Instagram (@lilik_cooking)
日本産のシャインマスカットの糖度の高さをコメントと共に



いいね 21件

静岡クラウンメロン Instagram (@joshua.whl)
夏は定番の日本の静岡クラウンメロンを楽しむことは幸せ



いいね 85件
コメント 1件

青森りんご Instagram (@fungcandice_abc)
糖度13.3度のリオリんごを@yatahkで購入。切ってそのまま食べるだけでなく、酢漬けに挑戦してみてもは？

日本産青果物利用した外食レストラン・カフェ店舗のSNS情報配信



いいね 22件

日本産白桃 バヴァロワ Instagram (@joshua.whl)
日本産の白桃等のフルーツのゴージャスさをコメント
カフェ店舗：HK K11 La Famille



いいね 28件

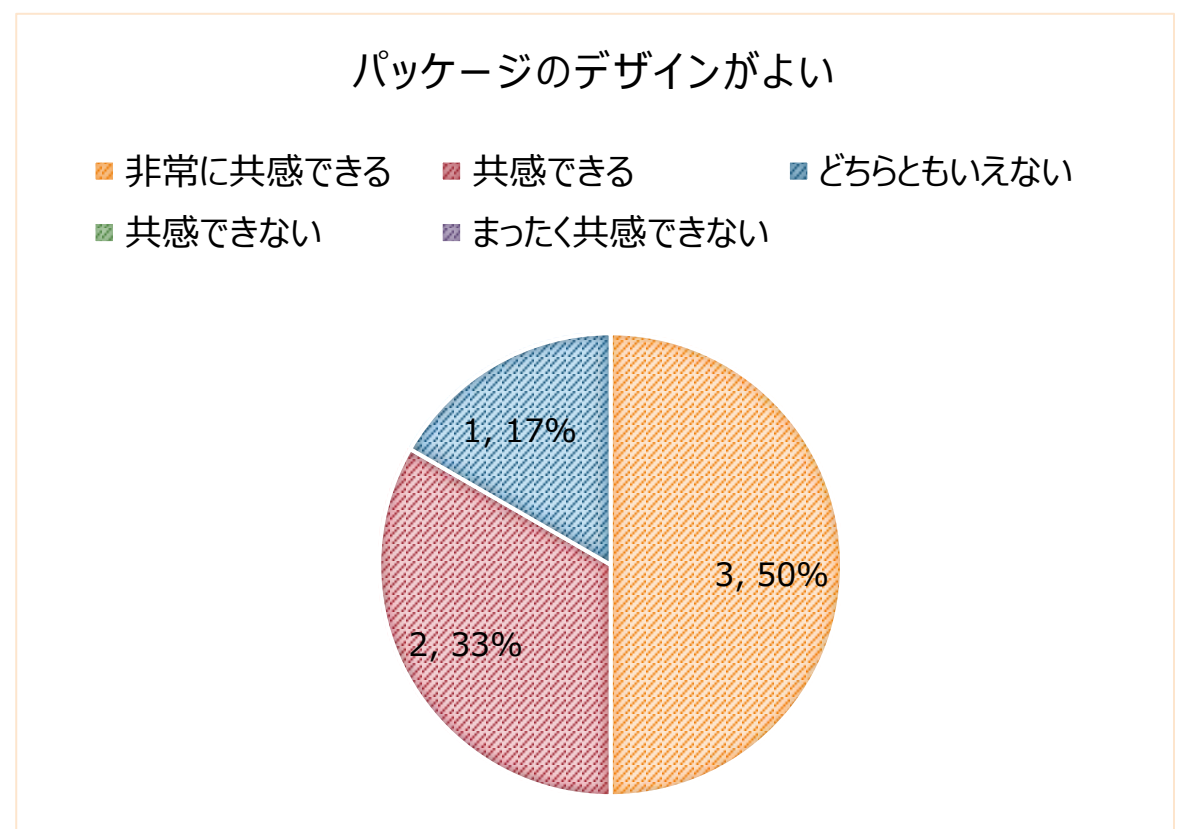
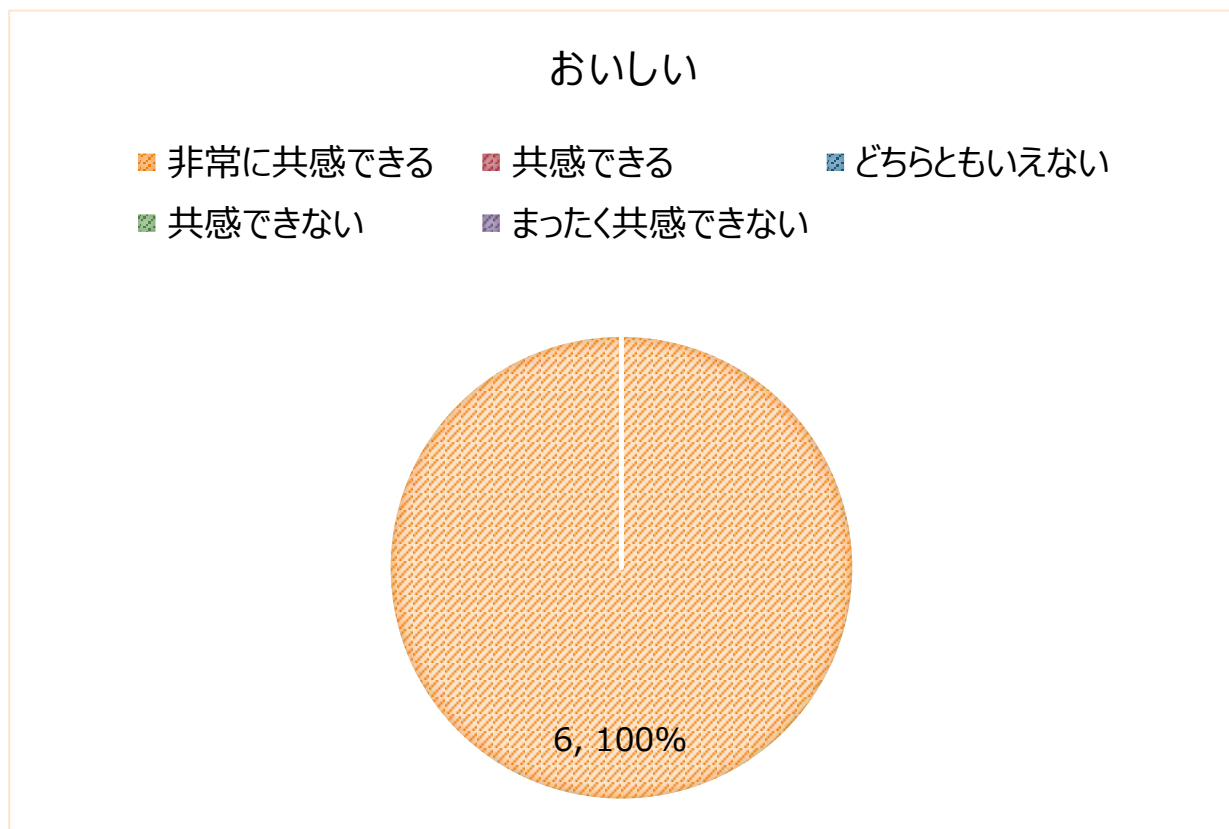
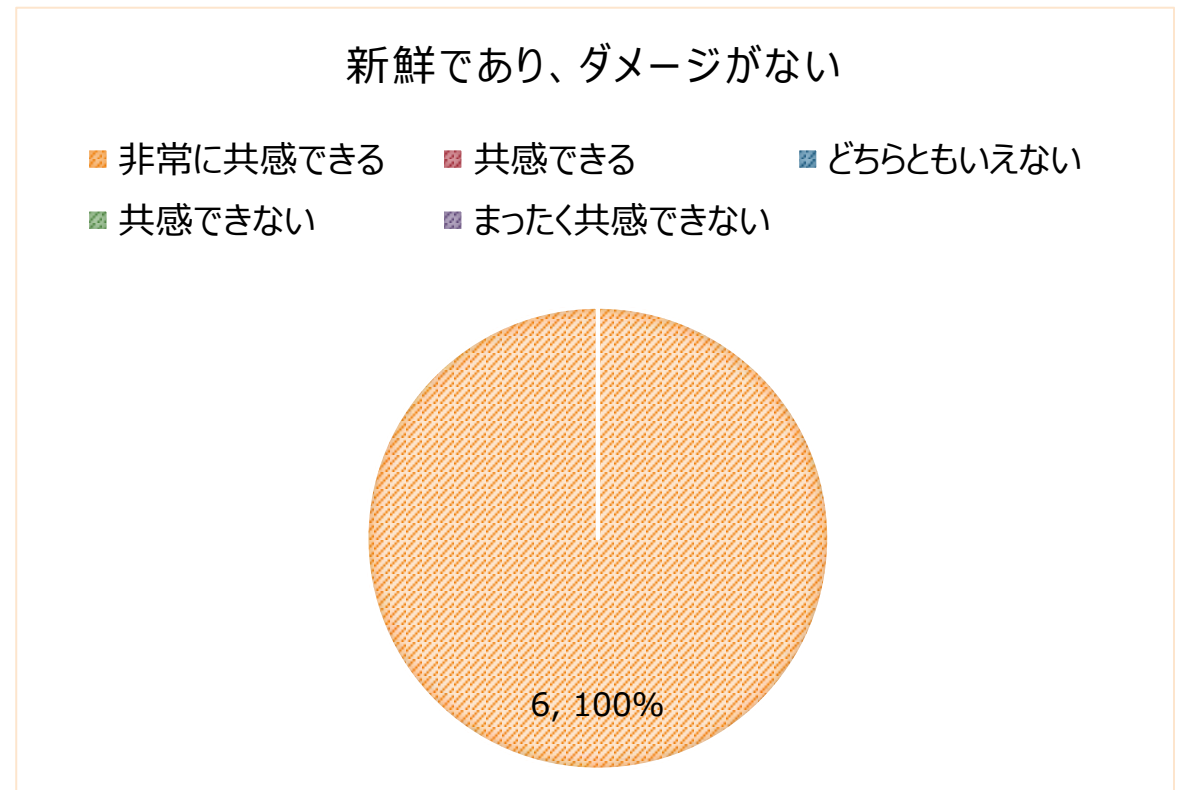
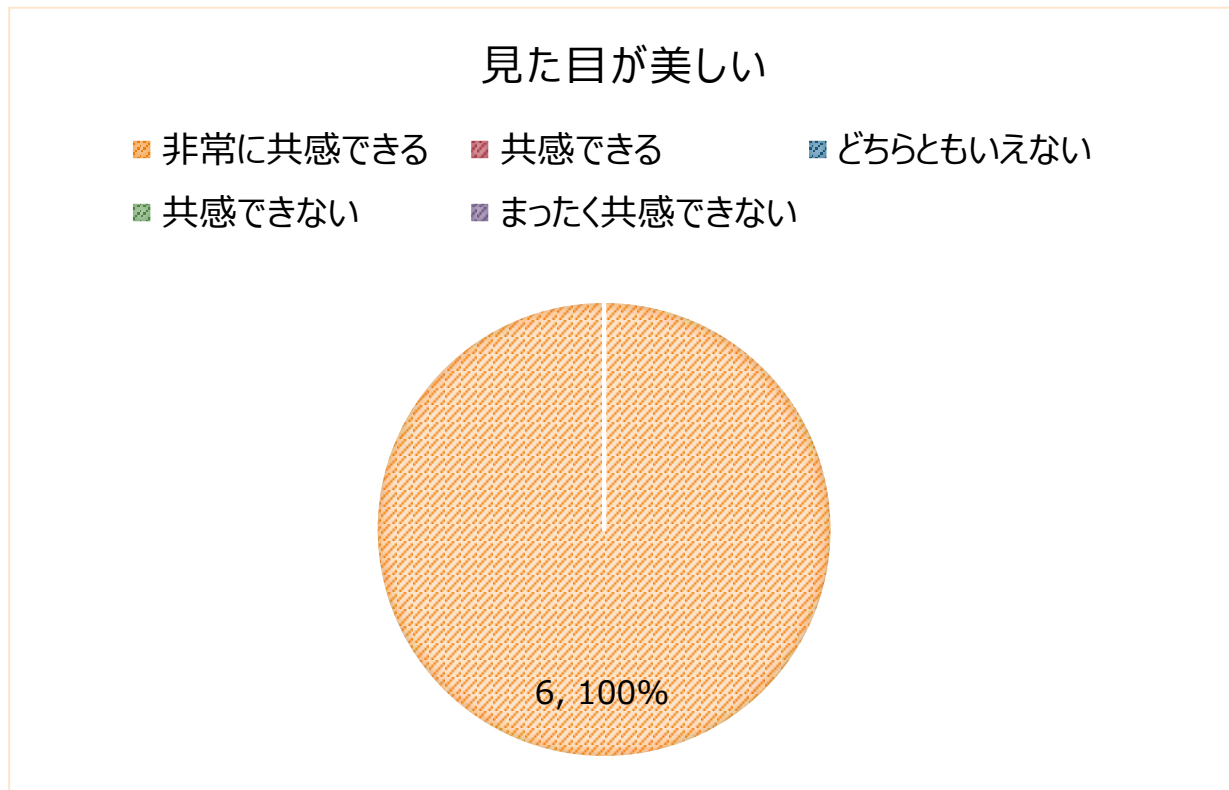
熊本産メロンシロノワール Instagram (@lilik_cooking)
熊本産のメロン、牛乳を利用したアイスクリームのデザート
カフェ店舗：コメダ珈琲店



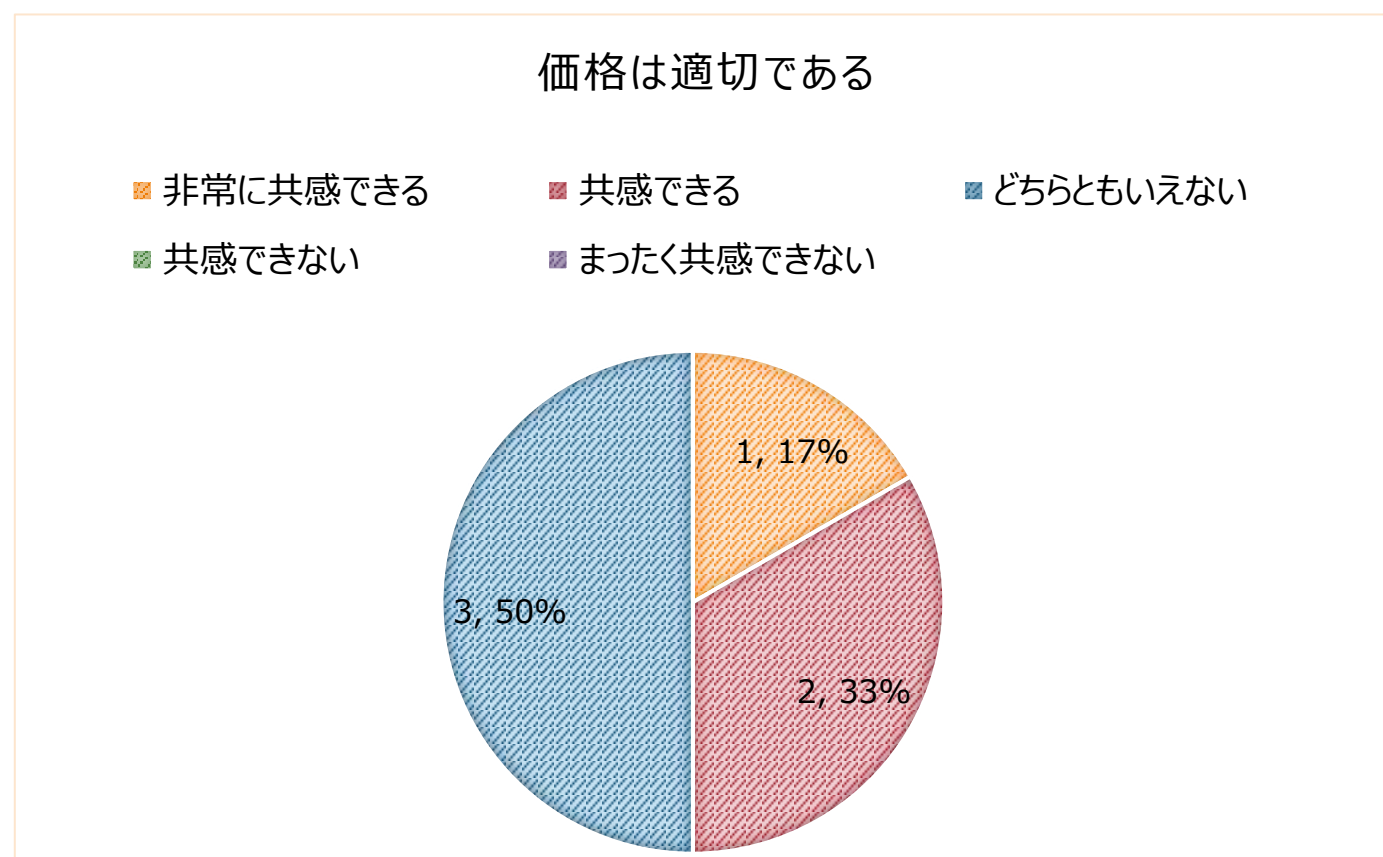
IV. 日本産青果物に対する印象や国ごとの特徴

HK

- 見た目の良さ、新鮮さと味に対する評価は非常に高い
- パッケージのデザインに関しては相対的に評価は落ち、価格に関しては、半数が価格は適切とはいえないとの評価
- パッケージ、価格面での継続的な努力は必要と想定される



N = 6





以下、JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報（台湾）」より、青果物に関する項目をまとめた内容

味覚、嗜好上の特徴	・一般的に、薄味が好まれる ・スイーツの糖度は基本的に日本よりも低いが、ジューススタンドのドリンク等は日本よりも甘い傾向にある ・香辛料で味付けすることが多い。台湾バジル (九層塔) やパクチーを使うのも一般的 ・体を冷やす冷たい料理・飲み物よりも、温かい料理・飲み物が好まれる傾向がある ・一方、日本に旅行経験のある人や若年層を中心に、本場 (日本) の味を好む層も存在する ・ご飯は白飯ではなく、何かをかけて食べるケースが多い ・商品自体は台湾市場に既にあるものでも、日本産品として製法・パッケージ・ブランド力・味等で明確に差別化できる商品が求められる
制度的制約	・野菜、茶、果物、水産物: 輸入時の検査で不合格となる事例が増えているため、台湾の残留農薬基準や食品中の染物及び毒素の基準に適合しているか輸出前に確認することが推奨されている ・包装済み食品: 2015年7月からは栄養成分表示として「糖」の表示が義務付けられ、2020年7月1日からはアレルギー表示対象物質が11点に変更された ・東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う輸入規制： 福島、茨城、群馬、栃木、千葉産の野生鳥獣肉、キノコ類、コシアブラ産品については輸入が停止されている。また、放射性物質検査報告書や産地証明書が必要な商品もある ※規制に関しては、変更されることがあるので実際に輸出する前にその内容を確認することが必要です。
商流・物流・商習慣	・高級百貨店 (SOGO、微風広場、新光三越、高島屋等) の高級スーパーでは豊富な日本産食品が販売されている。一方、一般のスーパーや量産店では、調味料等一部の食品のみが販売されている ・スーパーマーケット、コンビニエンスストア、レストランなどで冷蔵・冷凍品も問題なく流通しており、独自のコールドチェーンが整備されている ・旧正月や中秋節には高級フルーツや和牛などの食品を贈る習慣がある
外食・小売等の状況	・中華・台湾料理の次に日本食レストランの数が多く、日式と呼ばれる現地の日本料理店も多数存在するが、他国・地域と比較して、相対的にレベルは高い ・全般的に薄味を好むが、本物志向で日本と同じ味を好む層も増えており、味付けをローカライズしない店の方が人気が高い ・アフターコロナの今、料理や食料品等の宅配サービスが普及している。72%の消費者が利用したことがある、という調査報告がある
日本食普及状況等	・日本産食品は種類、量ともに豊富であり、成熟市場 ・日本産品であれば一度はトライアルで使ってもらえる可能性があるが、継続するかは別問題。市場における競争は非常に激しい

出典：JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報」（台湾）



I .日本青果物の流通状況とモニター評価：モニターの属性と購入果実 TW

台湾

量販店・試食調査結果

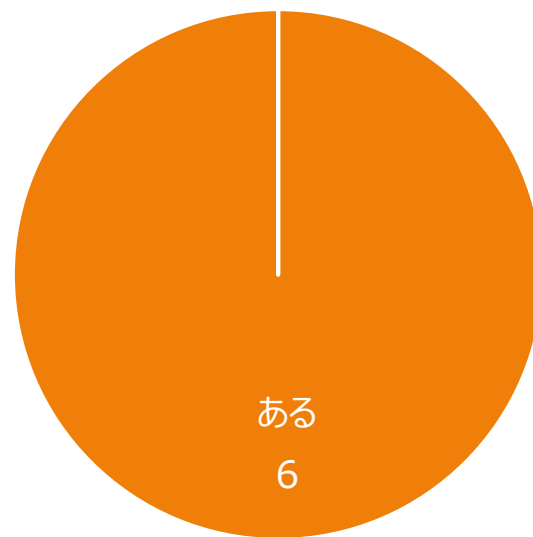
質問項目		回答					
		モニター 1		モニター 2		モニター3	
購入店舗名 (アンケート場所)		Breeze Super		Mia C'bon		city'super	
店舗属性		ローカルスーパー		ローカルスーパー		その他外国系スーパー	
日本青果物の販売状況	りんご	他国産		他国産		他国産	
	ぶどう	日本産/他国産		日本産/他国産		日本産/他国産	
	もも	日本産/他国産		他国産		日本産	
	かんきつ	日本産/他国産		日本産/他国産		日本産/他国産	
	柿	販売なし		販売なし		販売なし	
	梨	販売なし		他国産		販売なし	
	いちご	販売なし		販売なし		販売なし	
	かんしょ	日本産/他国産		販売なし		他国産	
	メロン	他国産		日本産/他国産		日本産/他国産	
	長芋	日本産		販売なし		日本産	
購入青果物の概要	購入した青果物 (当日)	もも	かんきつ	かんきつ	メロン	長芋	ぶどう
	品種	不明	温室みかん	温室みかん	クラウンメロン	不明	ピオーネ
	産地	和歌山	佐賀	佐賀	静岡	北海道	岡山
	購入価格	920TWD (4,125JPY)/2個	320TWD (1,435JPY)/5個	349TWD (1,565JPY)/5個	1999TWD (8965JPY)	249TWD (1,115JPY)	1480TWD (6,635JPY)
	糖度	10.2%	10.8%	9.8%	10.5%	9%	15.5%



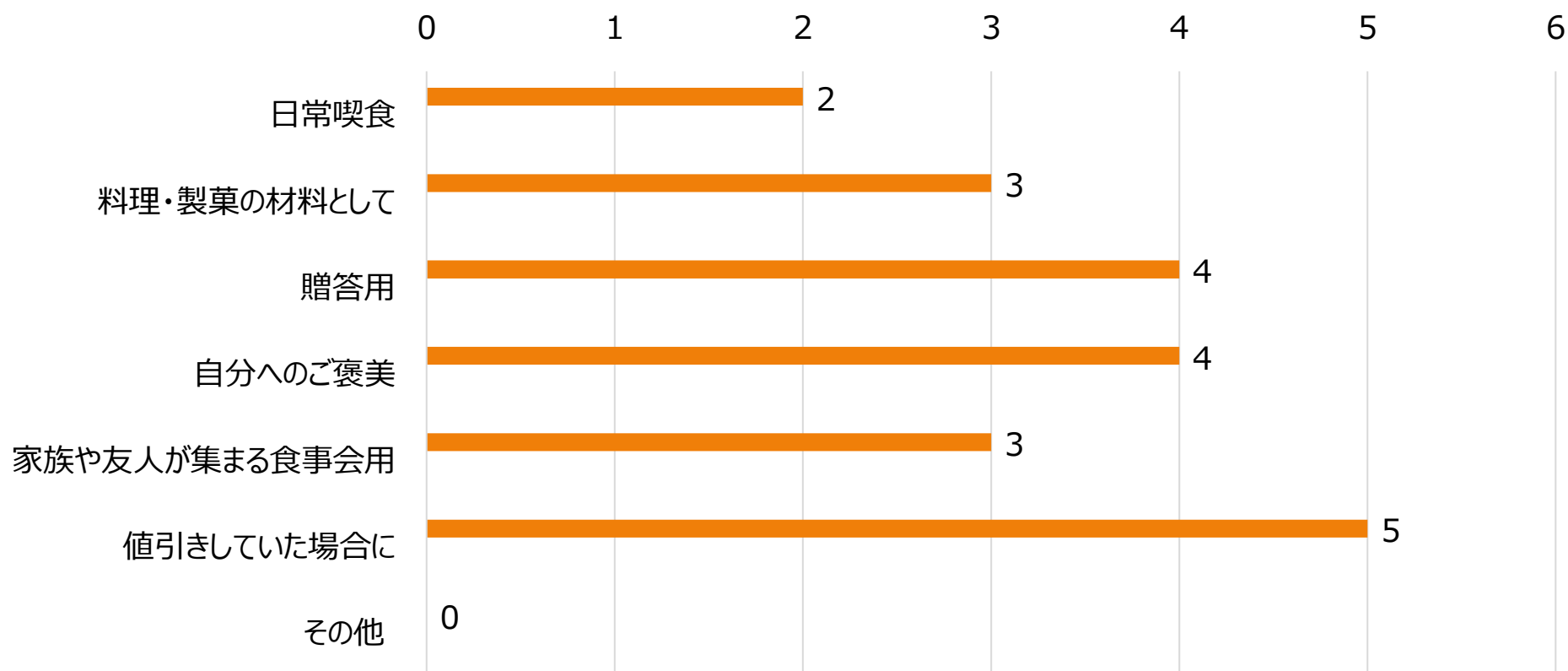
I. 日本青果物の流通状況とモニター評価：リピート購入可能性と理由 TW

- 今回調査したモニターは全て、同じ種類の日本産青果物をリピート購入の可能性があるとの意見であった
- 理由としては、「値引きしていた場合に」という回答が一番多く、品質評価はいいが、価格に対しての抵抗感はあるものと想定される
- 主なリピート購入の理由としては、贈答用、自分へのご褒美とあり、特別なタイミングで購入したいという意見が多数を占める

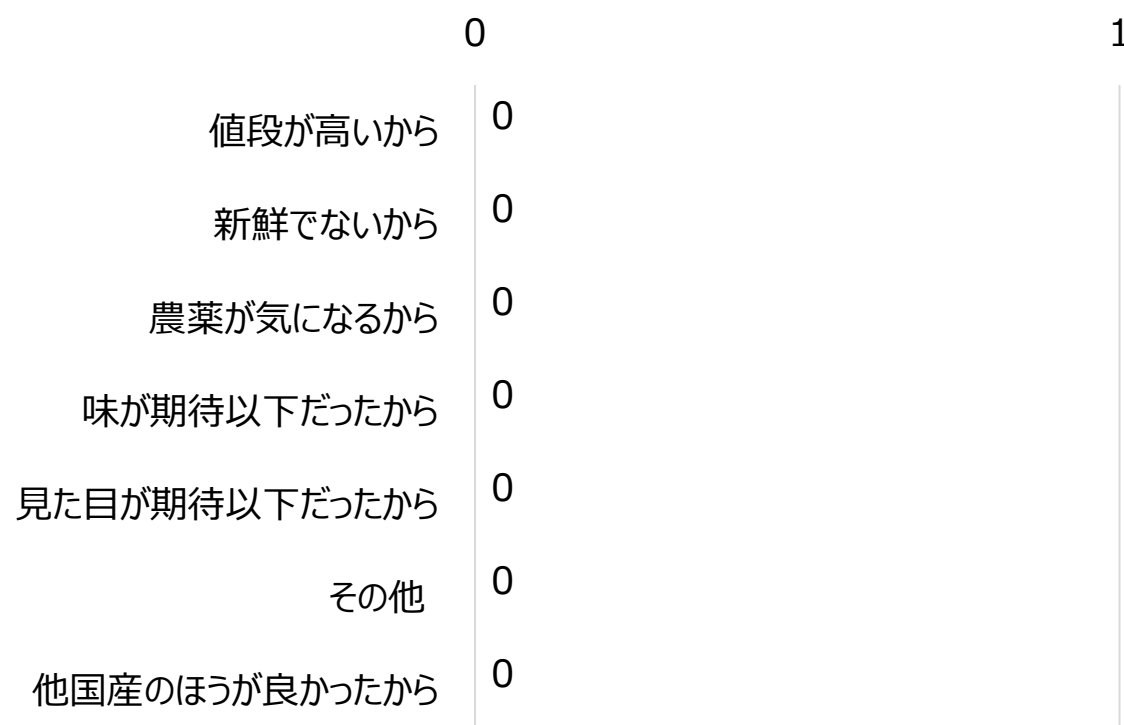
今後、同じ日本産青果物を買う可能性はありますか（N=6）



リピート購買理由／動機（N=6、複数回答可）



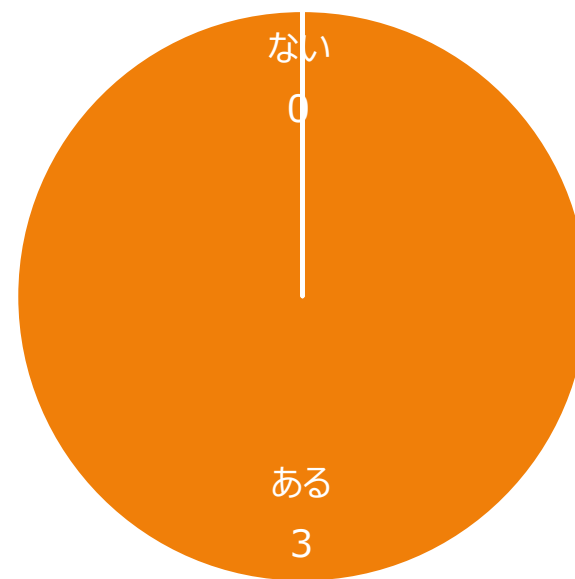
リピート非購買理由／動機（N=0、複数回答可）



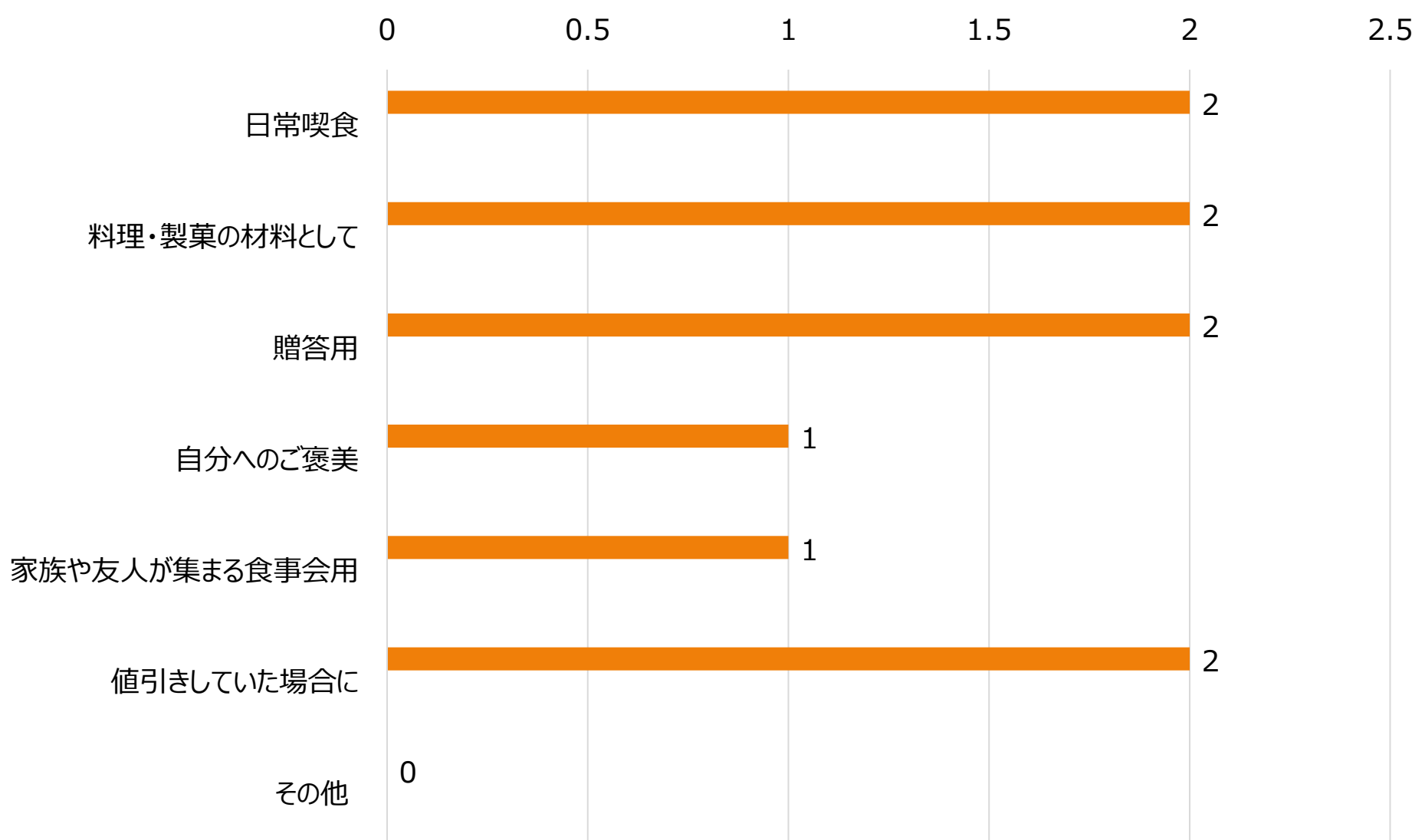
- 調査した加工品：西条柿バターサンド（かき）、ノンオイルいよかンドレッシング（かんきつ）、りんごジュース（りんご）
- 調査対象の加工品に対してのリピート購入可能性について、3人のモニター全てがあると記入した
- これらの加工品は、日常喫食や料理・製菓の材料として消費されている



今後、この加工品を買う可能性はありますか（N＝3）



購買理由／動機（N＝3、複数回答可）



■ 7月に台湾を訪れたスタッフがDON DON DONKIで販売されている加工品を調査した様子

■ りんごやみかんを使用したジュース



■ 焼き芋の自販機



■ りんごやメロンのジェラートやアイス



POPの表記が間違っている商品も

・北海道あまおう苺ゼリー
→ (正) 福岡県産あまおう苺ゼリー

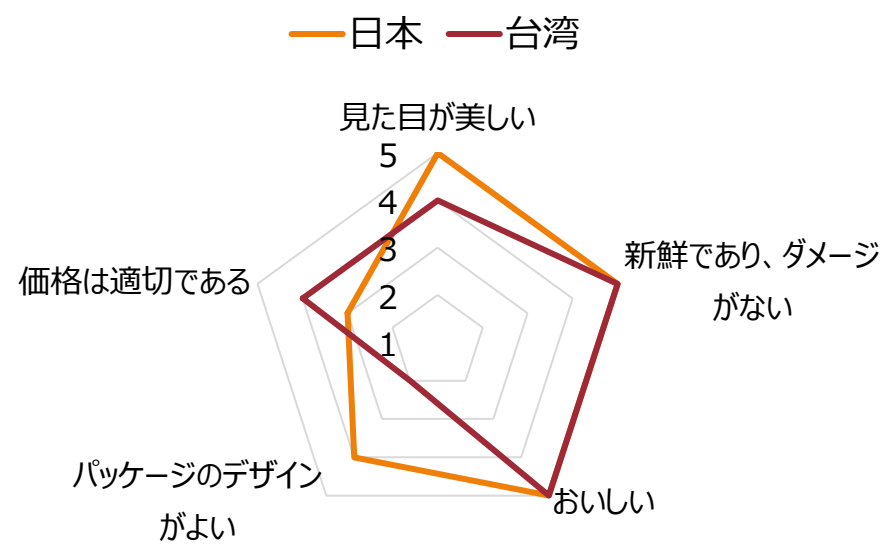
・北海道シャインマスカットゼリー
→ (正) 長野県産シャインマスカットゼリー





Ⅱ.同一外国産との比較 (消費者コメント) – メロン・みかん

TW



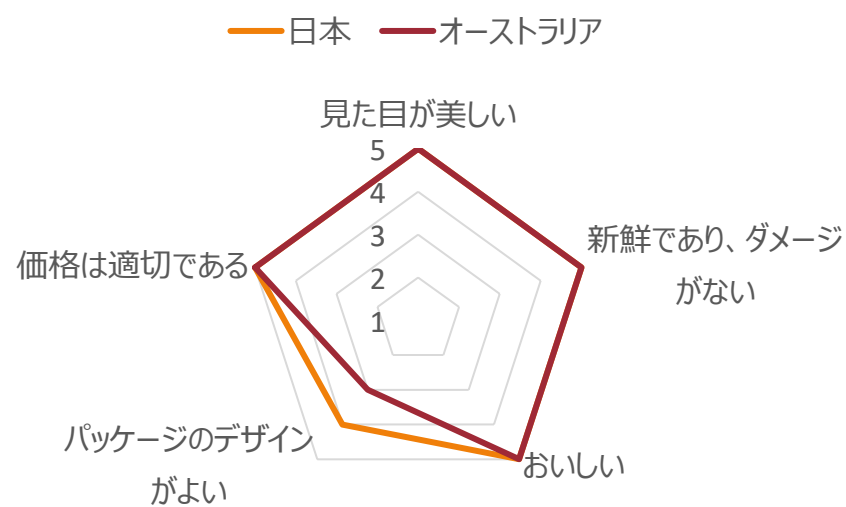
比較評価コメント

- ・ 普段自分で青果物を買わないが、メロンを購入するとしたら、台湾産のものよりも、日本のメロンのあの食感とちょうどいい甘さを味わいたい
- ・ 日本産は見た目と新鮮さも味も良いが、価格が高いため、主には贈答用での購入になると思う

品目比較による示唆

- ・ 価格差はあるものの、味や食感などを総合して台湾の消費者に日本産メロンは受け入れられている

品種	クラウンメロン（静岡）	アールスメロン（台湾）
写真		
価格	1,999TWD(8,965JPY)	699TWD (3,132JPY)
糖度	10.5%	13.9%



比較評価コメント

- ・ パッケージ以外は佐賀産の温室みかんとオーストラリア産ネーブルはほぼ同程度の評価
- ・ ジューシーで甘すぎない日本産のほうが、総合的には魅力的で、再購入も日本産のほうの可能性が高い

品目比較による示唆

- ・ みずみずしさ、上品な甘さを評価する消費者がおり、日本産みかんの購買層となっている
- ・ かんきつの場合、皮の剥きやすさ = 食べやすさとなり、高評価に繋がることも

品種	温室みかん（佐賀）	ネーブル（オーストラリア）
写真		
価格	320TWD/5個 (1435JPY)	200TWD/4個 (900JPY)
糖度	10.8%	9.2%

- 調査のタイミングでローカル・他国産青果物のセールが見られた
- 調査のタイミングでディスカウントオファーなどがあった調査対象青果物とその原産国・価格は以下のとおり

項目	①	②
原産国	ニュージーランド	台湾
青果物	ロキットアップル	カミラメロン
販売価格	179 TWD (801 JPY) /5個	198 TWD (887 JPY) /1玉
販売場所	Mia C'bon	city'super



- 各スーパーでは、日本産青果物のコーナーが設けられ、各種果物がまとまって販売されている
- 今回の調査時期においては、「日本産」と強調する表示（POPや看板など）はあまりみられなかった



Breeze Super



Mia C'bon



city'super

- 「杏仁核」では、「日本産ピオーネのショートケーキ」（360TWD/1,613JPY）や「日本産白鳳ヨーグルト」（390TWD/1,747JPY）等の日本産青果物を用いた洋菓子が販売されている
- 白鳳ヨーグルトはグラスで提供される見た目もよく、様々な味や食感が楽しめるモニターから高評価を受けていた



- 搜索和菓子を提供する「宗家源 吉兆庵」では、マスカットを使った「陸乃宝珠」（160TWD/720JPY）や「金柑大福」（100TWD/450JPY）など日本産青果物を用いた和菓子を販売している
- 陸乃宝珠は、生地にも果物を包むシンプルな製法により、果物の風味が際立っており、特別感があるとの評価



日本産青果物を試食した様子、外食のレストランやカフェの購入店舗の情報や、商品についての説明などを紹介
※いいね・コメント数は2023年7月31日時点

量販小売店舗より購入後自宅での喫食体験のSNS情報配信



静岡クラウンメロン Instagram (@amand.tchou)
結婚式の準備でダイエットのため、静岡クラウンメロンとキュウリでサラダを楽しめる



岡山産ピオーネダックワーズ Instagram (@xiaojhen)
岡山産のピオーネを使った、グルテンフリーのダックワーズを自作した写真を掲載



北海道産長芋 そば Instagram (@xiaojhen)
北海道産の長芋を使って調理したとろろそばの食事の写真



和歌山産 もも Instagram (@c_1109_yy)
和歌山産のもものそのものの写真を、味や香りの評価、また、ももの選び方などの紹介とともに投稿。

日本産青果物利用した外食レストラン・カフェ店舗のSNS情報配信



佐賀産みかん しゃぶしゃぶ Instagram (@amanda.tchou)
山口県の郷土料理を真似て、しゃぶしゃぶにみかんを投入した様子
「ジューシーで、夏にぴったり」とのコメント



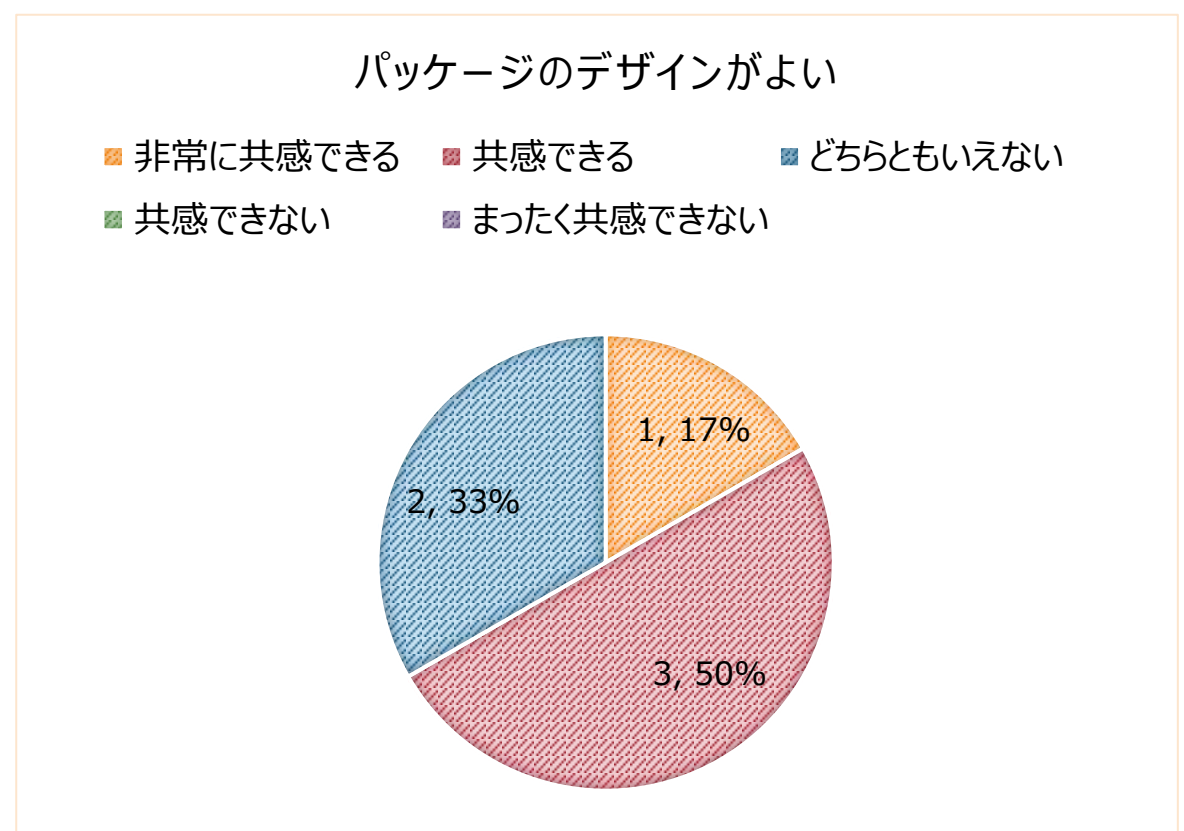
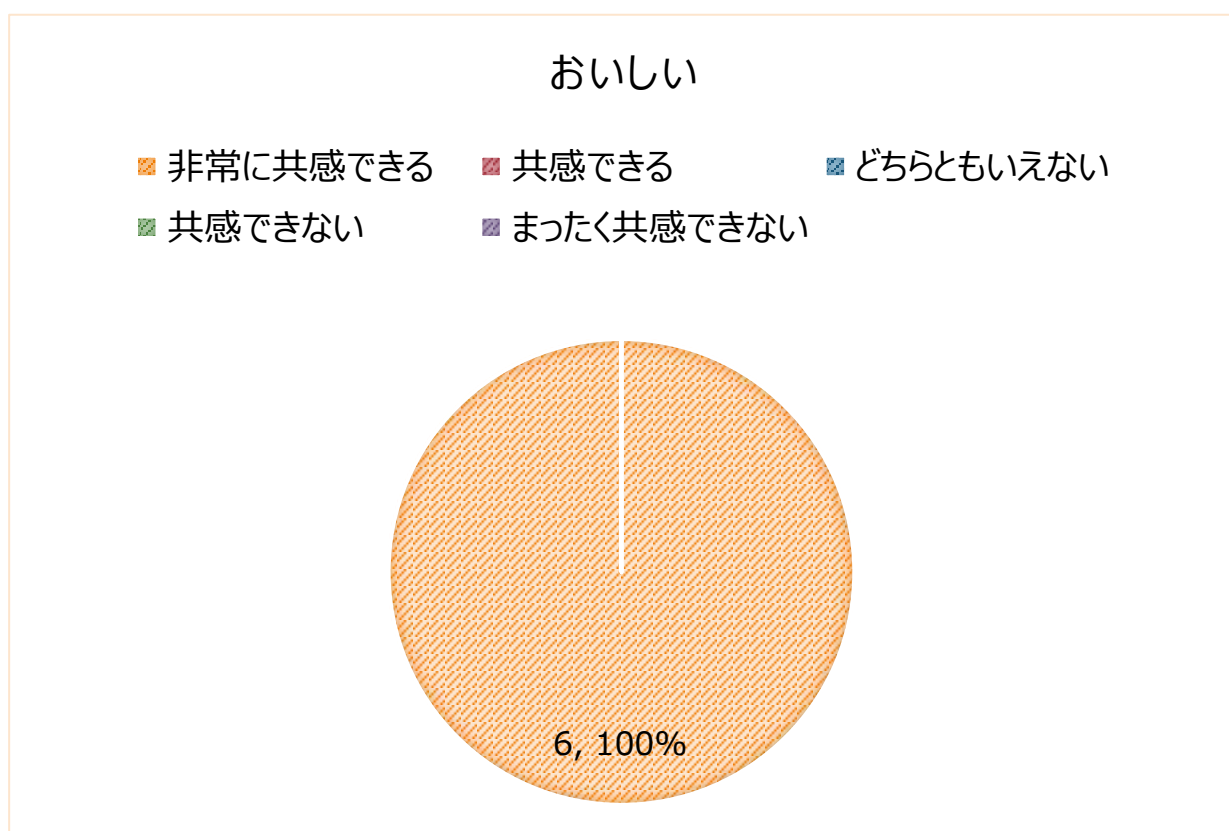
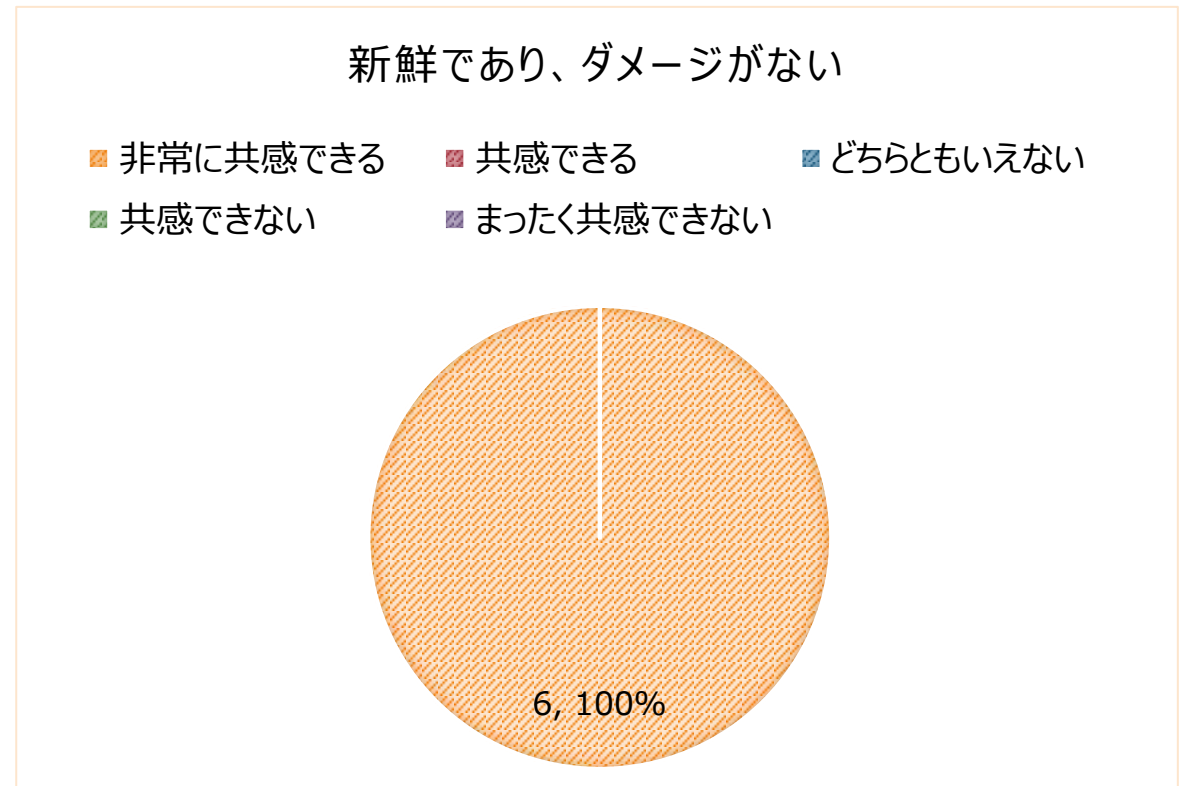
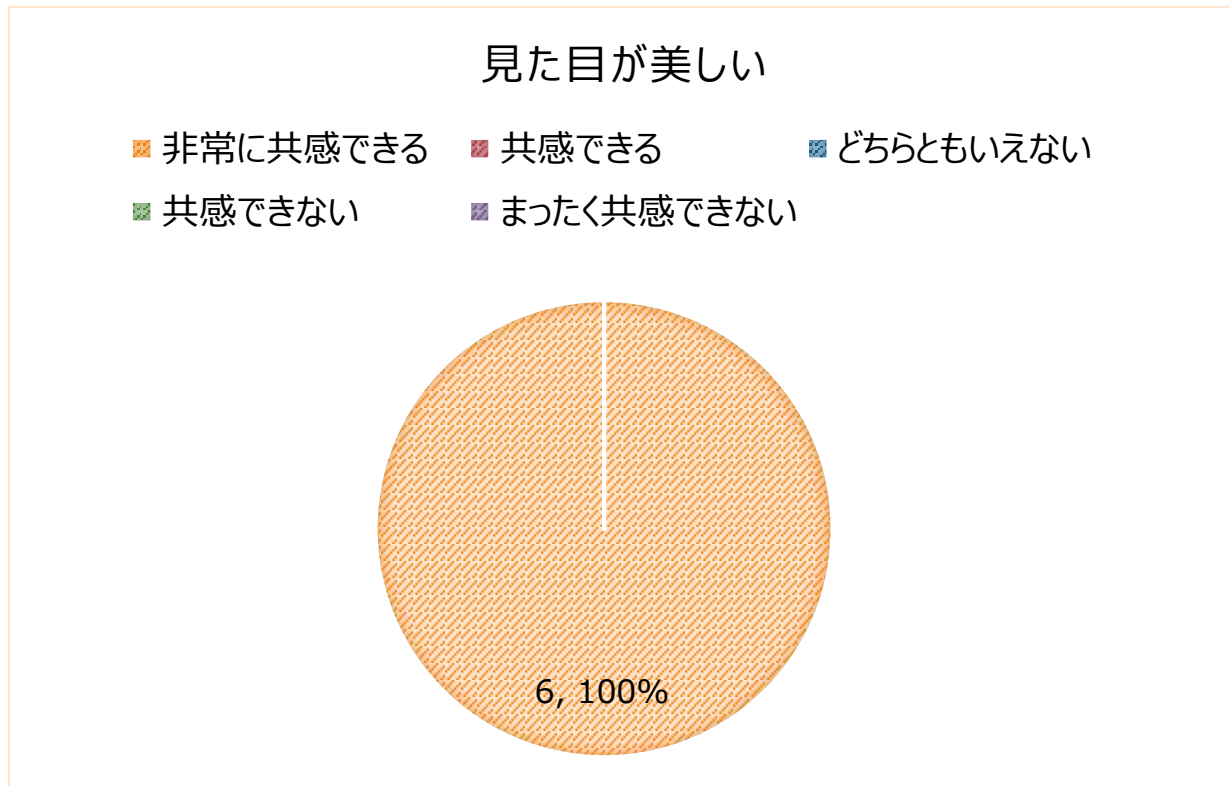
和菓子・金柑大福 Instagram (@amanda.tchou)
陸乃宝珠は、生地日本産青果物のシャインマスカットや蜜柑を包んで和菓子として販売



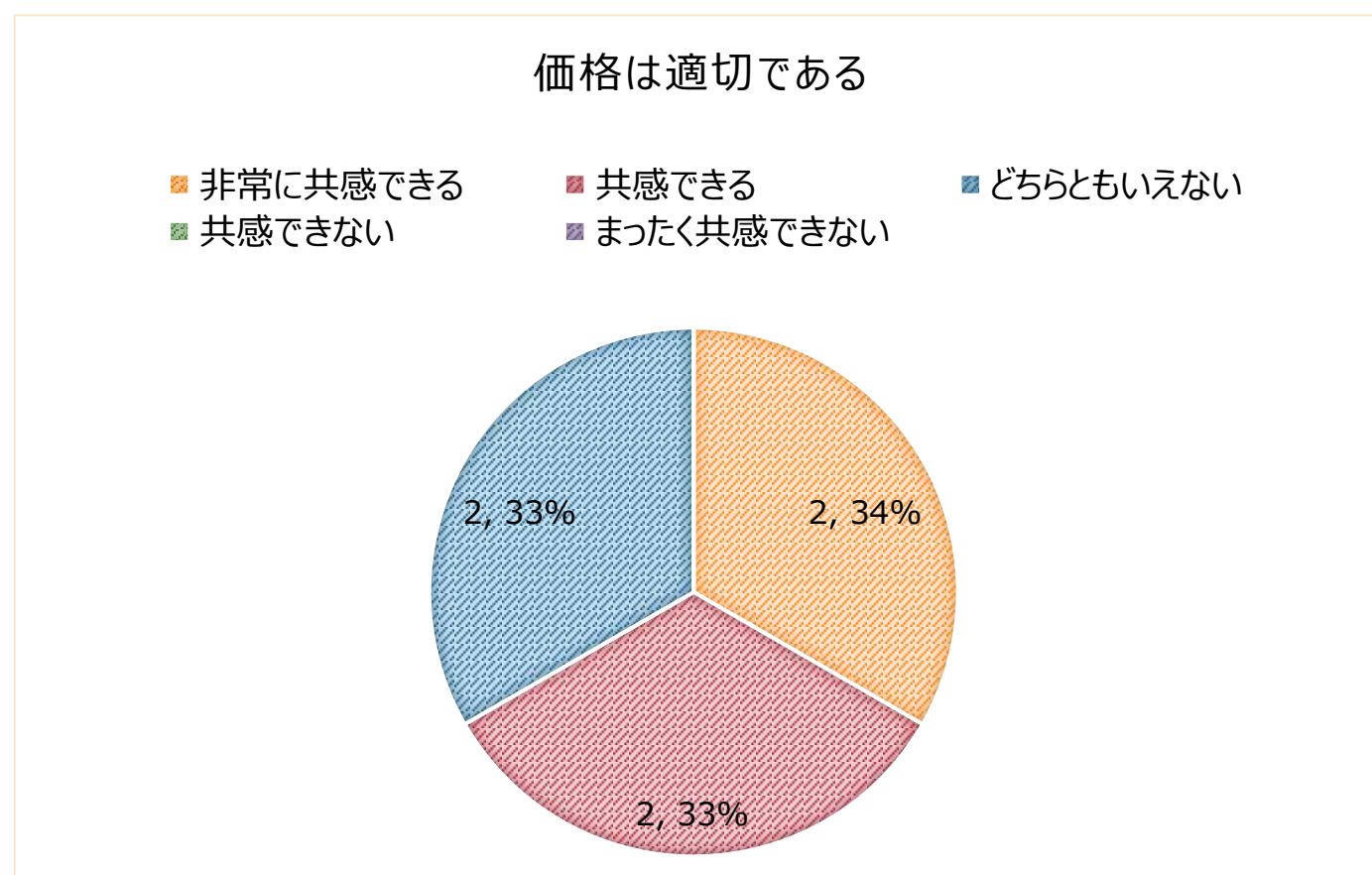
IV. 日本産青果物に対する印象や国ごとの特徴

TW

- 見た目の良さ、新鮮さと味に対する評価は非常に高い
- パッケージのデザインに関しては相対的に評価は落ち、価格に関しては、1 / 3 程度がどちらともいえないと回答
- パッケージ、価格面での継続的な努力は必要と想定される



N = 6





以下、JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報（シンガポール）」より、青果物に関する項目をまとめた内容

味覚、嗜好上の特徴	・基本的に味付けが濃く、スパイシーなもの、甘いものを好む、塩辛い、酸っぱい、薄味、あっさりとした味は苦手 ・スイーツ (特に北海道産) が人気。適度な甘さと洗練されたパッケージの商品が人気 ・健康志向の高まりから、減塩商材や健康食品に販路開拓の可能性あり ・日本産食品には、安心・安全・健康といったイメージがある
制度的制約	・日本産青果物をシンガポールに輸出する際には、日本の植物検疫証明書を取得する必要はありません (種子などは除く) ※規制に関しては、変更されることがあるので実際に輸出する前にその内容を確認することが必要です。
商流・物流・商習慣	・日本食品を揃える高・中級以上のスーパーマーケットでは、Dairy Farmグループ(主に「Cold Storage」)とNTUCグループ (主に「FairPrice Finest」) が大半のシェア ・明治屋、伊勢丹、DON DON DONKIなどの日本食品小売店では豊富な品揃えがあり、地場系スーパーマーケットでも一部の日本食品を取り扱っている ・現地小売店では委託販売が一般的であり、返品リスクは輸入卸売業者が負担している。また、プロモーション費や新商品の登録、取引口座開設の手数料や高額なPR費用等を要求されることが一般的 ・日本食品の輸入は主に輸入卸売業者を通じて行われており、輸入ライセンスの取得が比較的容易である ・空輸や海上輸送 (ドライ、リーファー) による輸送が整備され、コールドチェーンも確立されている。生鮮食品の輸入では空輸が一般的であり、運賃面に課題がある
外食・小売等の状況	・日本食レストランは広く人気があり、多数存在している ・アフターコロナでレストランでの店内飲食が制限なし、テイクアウトやデリバリーサービス提供が増えている状況 ・小売やECは新型コロナ禍において需要が高まり、売り上げが大幅に伸びている
日本食普及状況等	・日本食品は広く普及しているが、都市国家シンガポールでは地方という概念がないため、「〇〇県産」より、「メイド・イン・ジャパン」に関心がある。また、「メイド・イン・ジャパン = 高価格」というイメージもあり、「価格」と「品質」を両立したコストパフォーマンスの良い商材の提案が必要となる ・安定市場のため既存品との差別化、価格引き下げ努力が必須。SNSの普及しており、流行に敏感であることから、商品サイクルが早い ・シンガポールは共働きが一般的であり、家庭での調理が少ないため、簡単調理ができる食品が好まれる ・加工食品は、タイやインドネシアで製造された日系大手食品メーカーの商品が多数販売されている。新規参入には価格と品質等トータルで差別化を図る必要がある。 ・日本産青果物は品質が良く、おいしいことは理解されている。ただし、価格が高く、一部の富裕層向けの商品という位置付けである。同じ果物でも「産地間の連携」や「フレッシュ (旬) ⇒冷凍 (カットフルーツ) ⇒冷凍 (加工品) ⇒果汁」といった形態を変えての通年供給等、日本産果物の認知度向上への工夫が必要。野菜は小ロット、鮮度管理の観点から空輸で輸入されており、価格が高い

出典：JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報」（シンガポール）



シンガポール

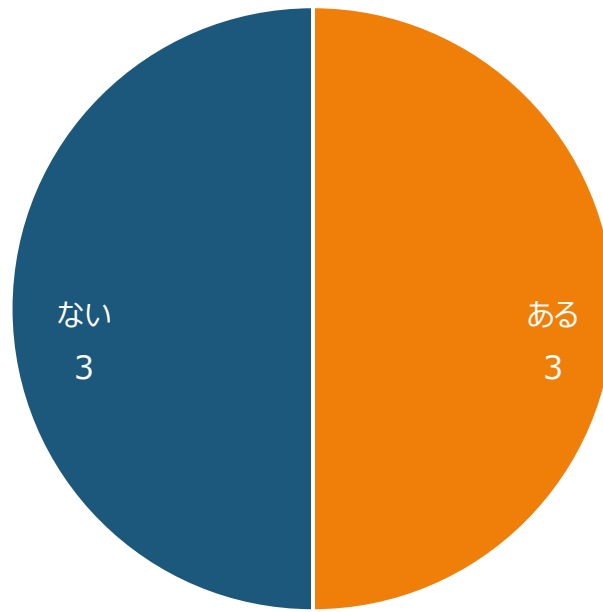
量販店・試食調査結果

質問項目		回答					
		モニター 1		モニター 2		モニター3	
購入店舗名 (アンケート場所)		FairPrice Xtra		Isetan		Cold Storage	
店舗属性		ローカルスーパー		日系デパート		ローカルスーパー	
日本青果物の販売状況	りんご	日本産／他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	ぶどう	日本産／他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	もも	日本産／他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	かんきつ	日本産／他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	柿	販売なし		他国産		販売なし	
	梨	日本産／他国産		販売なし		日本産／他国産	
	いちご	他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	かんしょ	他国産		日本産／他国産		日本産	
	メロン	他国産		日本産		日本産／他国産	
	長芋	日本産／他国産		日本産		日本産	
購入青果物の概要	購入した青果物 (当日)	ぶどう	もも	ぶどう	メロン	ぶどう	メロン
	品種	シャインマスカット	不明	ピオーネ	レノンメロン	シャインマスカット	砂丘メロン
	産地	山梨	山梨	岡山	山形	岡山	京都
	購入価格	42.9 SGD (4,533 JPY)	23.9 SGD (2,525 JPY) /2個	48 SGD (5,072 JPY)	58 SGD (6,128 JPY)	60 SGD (6,340 JPY)	68 SGD (7,185 JPY)
	糖度	22.4%	11.9%	18.7%	8.4%	21.7%	18.3%

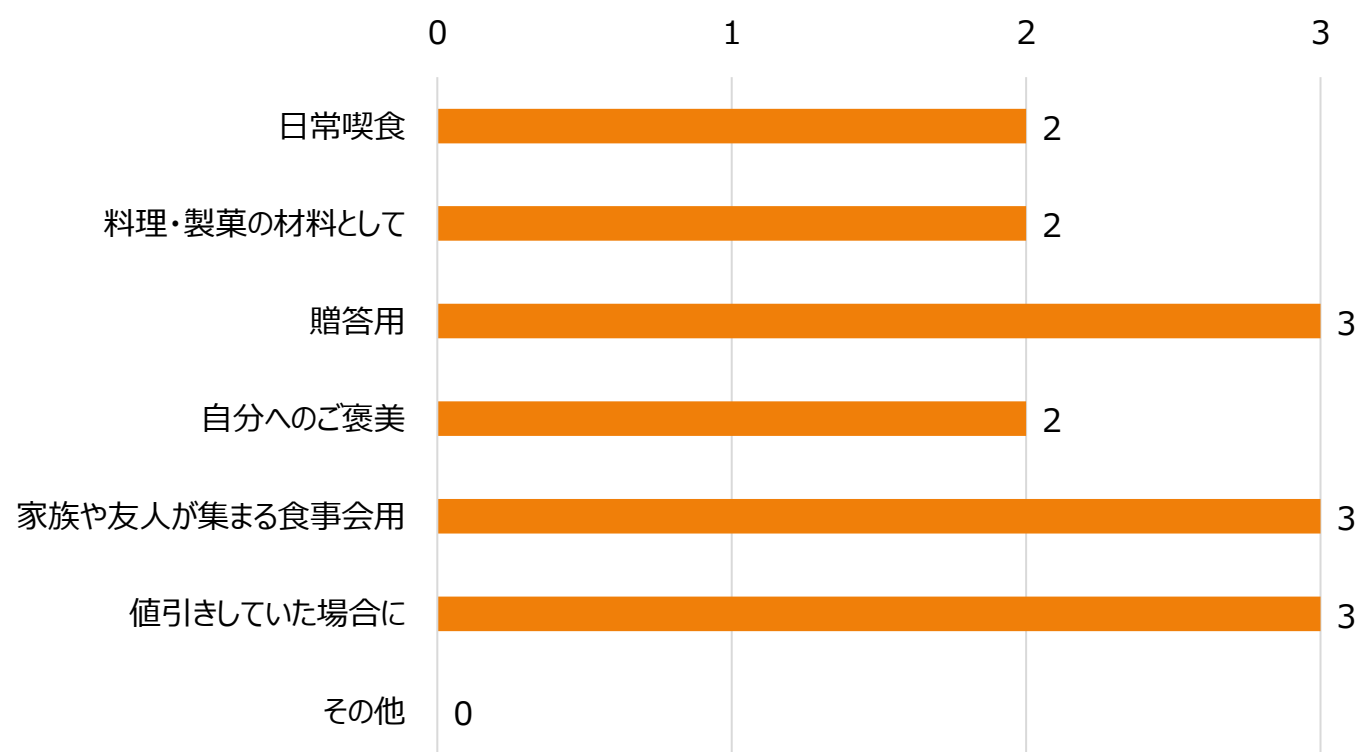


- 今回のモニターではリピート購入する可能性があると感じたのは、約半数のみであった
- リピート購入したくないと答えた理由は主に、価格の高さを要因としており、一部商品の新鮮さへの低評価もあった
- 逆に再購入を検討したいとしたケースでは、商品への満足度が高く、贈答用や友人などとの食事会に加え、ディスカウントの際には、日常喫食等でも利用したいとしている

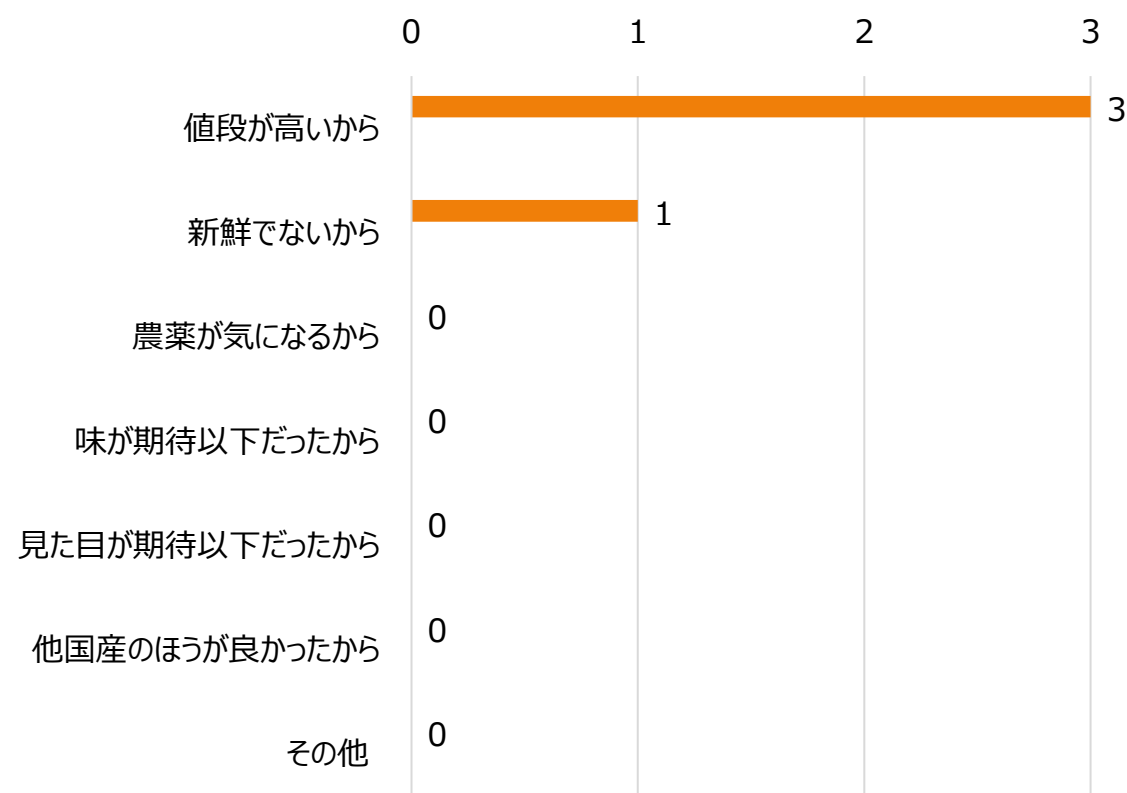
今後、同じ日本産青果物を買う可能性はありますか（N=6）



リピート購買理由／動機（N=3、複数回答可）



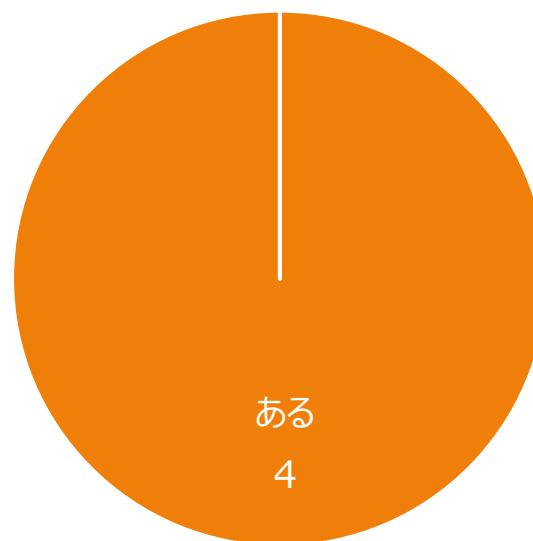
リピート非購買理由／動機（N=3、複数回答可）



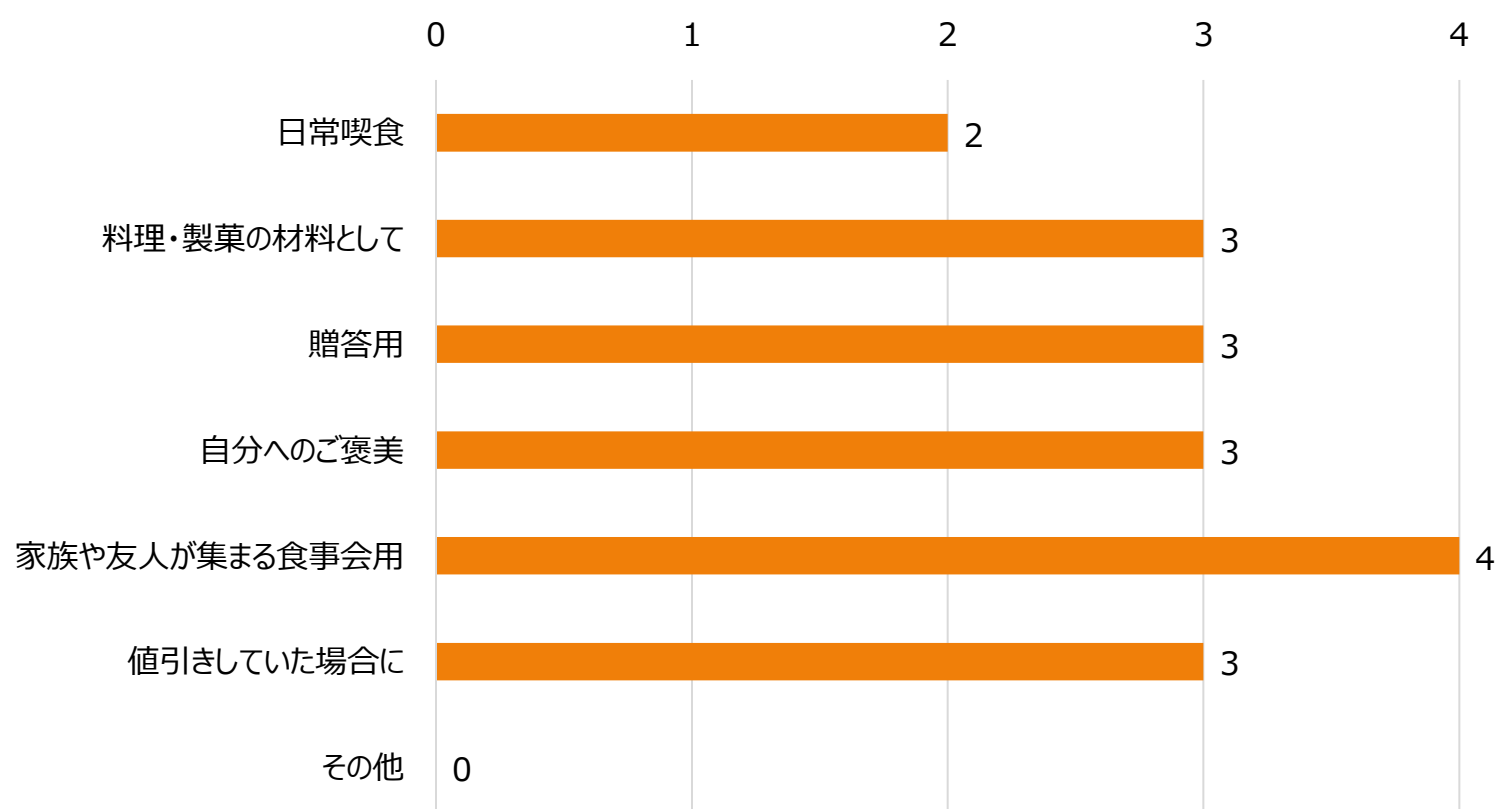
- りんご・ぶどう・ももなどを使用した加工品が見られる（ジャム・バタージャム・ガトーレーズンなど）
- 用途は幅広いが、相対的には、食事会での手土産や食事会でふるまうものとして購入されているケースが多い

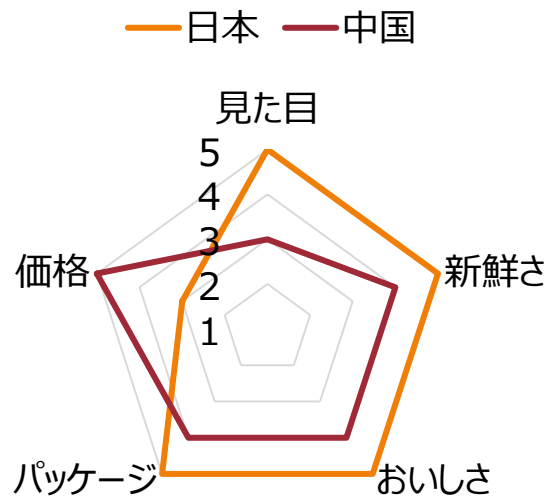


今後、この加工品を買う可能性はありますか（N＝4）



リピート購買理由／動機（N＝4、複数回答可）





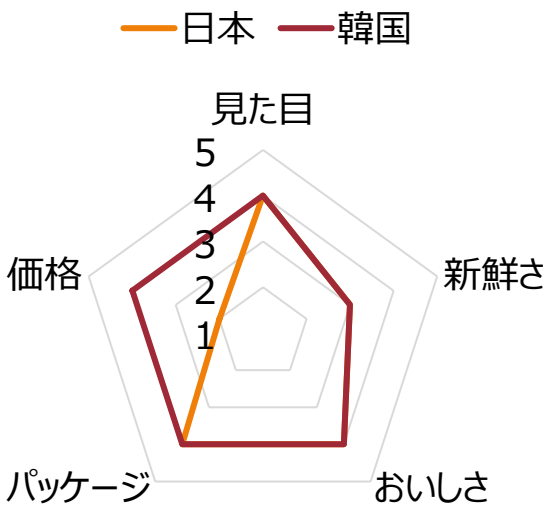
比較評価コメント

- 価格を除いて日本産への評価が高いものの、価格差が圧倒的に出ている
- そのため、モニターの評価としても、友人や家族などへの贈答などでタイミングあれば購入するかもしれないが、それ以外のケースでは、基本的に中国産を選択すること

品目比較による示唆

- 贈答用を基本として、異なるセグメントとして確立していくべき将来的な中国産の販促手法の変化には留意が必要

品種	シャインマスカット (岡山)	シャインマスカット (中国)
写真	 (左)日本産  (右)中国産	 (左)日本産  (右)中国産
価格	60 SGD (6,340 JPY)	7.5 SGD (792 JPY)
糖度	21.7%	21.3%



比較評価コメント

- 価格に関して以外の、品質関連やパッケージの評価は日本産と韓国産で同程度
- その他、大きな価格差が存在しているため、今後日本産を購入することはないとのこと

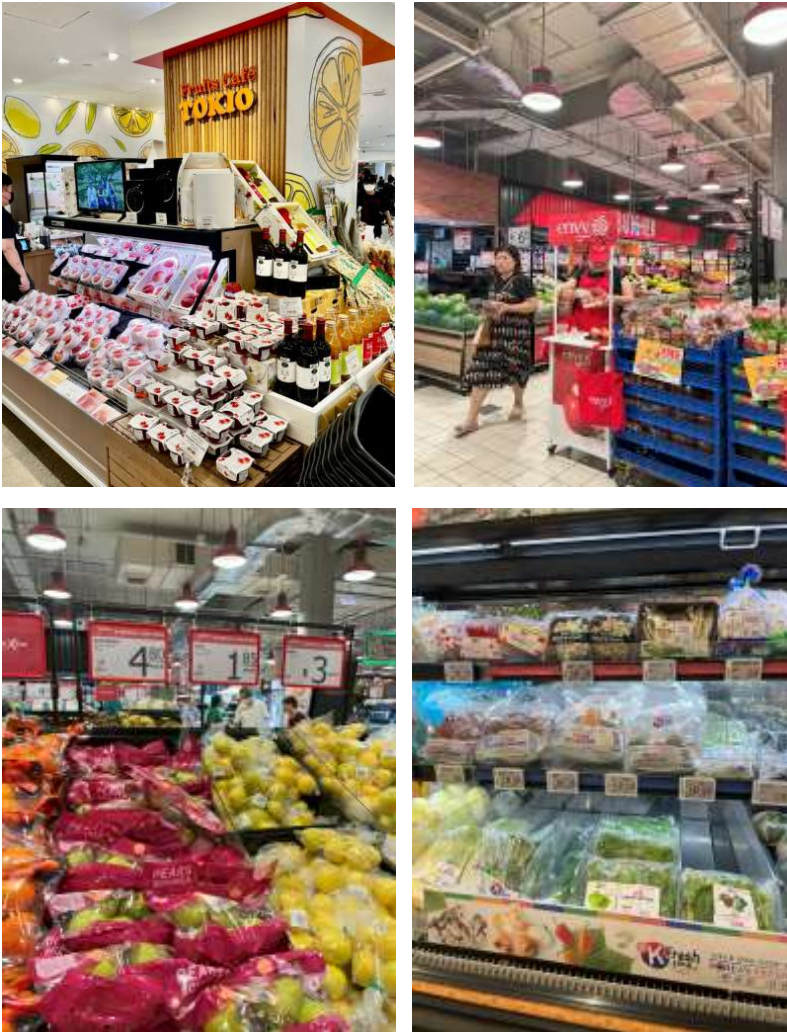
品目比較による示唆

- 韓国産との競争ではパッケージを含めた品質面での差別化は現行できておらず、販促・商品開発／選定面などでの工夫が必要

品種	もも (山梨)	もも (韓国)
写真		
価格	42.9 SGD (4,545 JPY)	9.95 SGD (1,055 JPY)
糖度	11.9%	13.3%

- 本調査のタイミングで外国産青果物の小規模なプロモーションイベントが実施されていた
- 訪問調査のタイミングでディスカウントオファーなどがあった調査対象青果物とその原産国・価格は以下のとおり

項目	①	②	③	④
原産国	中国	オーストラリア	韓国	不明
青果物	シャインマスカット	パッカム梨	もも	エンビーンご (品種：サイレート)
販売価格	7.5 SGD (792円) /パック	4.8 SGD (511円) /1袋	9.95 SGD (1059円) /パック	不明
販売場所	Cold Storage	FairPrice Xtra	FairPrice Xtra	FairPrice Xtra



- Cold Storageでは父の日をテーマとして、フェスを開催していた
- ディスカウント価格の提示（23.9SGD ⇒ 19.9SGD 特別価格Special Offer）に加え、「父の日」の印をPOPで示し、贈答用途での購入を狙ってプロモーションを行っていた



- Fruit ParadiseはJapan Foods Holdingが運営しているフルーツタルトショップで、日本人パティシエが運営に携わり、現在シンガポールに3店舗展開している
- 様々なフルーツを用いたタルトが1ピース9.9～11.8SGD程度の価格で提供されている
- 7月は、山梨産の白桃を用いたタルトが期間限定発売され、人気となっている
- 商品名：Fruit Jelly 店名：Fruit Café TOKIO、流行っている



日本産青果物を試食した様子、外食のレストランやカフェの購入店舗の情報や、商品についての説明などを紹介
※いいね・コメント数は2023年7月31日時点

量販小売店舗より購入後自宅での喫食体験のSNS情報配信



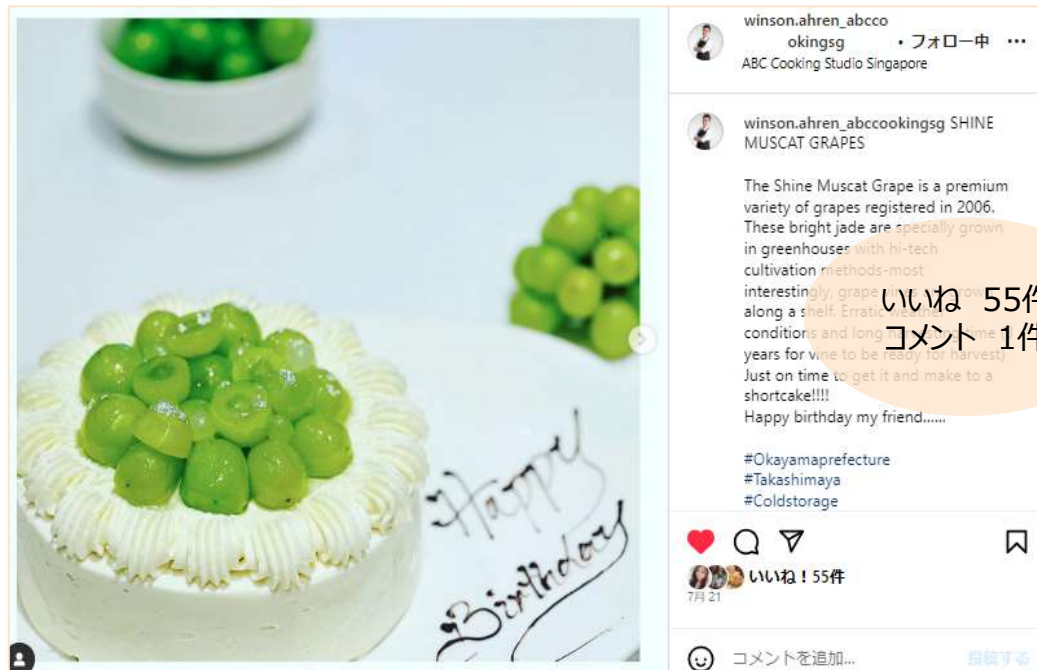
いいね 33件
コメント 1件

山形レノンメロン、岡山ピオーネブドウ Instagram(@shao_shao0215)
メロンとピオーネの自宅での喫食の様子を感想とともに投稿



いいね 23件
コメント 4件

京都砂丘メロン Instagram(@winson.ahren_abccookingsg)
香りや美味しさを評価、メロンミルクを作った様子を投稿



いいね 55件
コメント 1件

岡山シャインマスカット Instagram(@winson.ahren_abccookingsg)
友人の誕生日向けに調理したシャインマスカットを使ったケーキの写真を投稿



いいね 35件
コメント 1件

日本産みかん Instagram(@haylie_ben)
朝ごはんはビタミンCたっぷりの日本のみかんと一緒にたべている様子を投稿

日本産青果物利用した外食レストラン・カフェ店舗のSNS情報配信



いいね 35件
コメント 1件

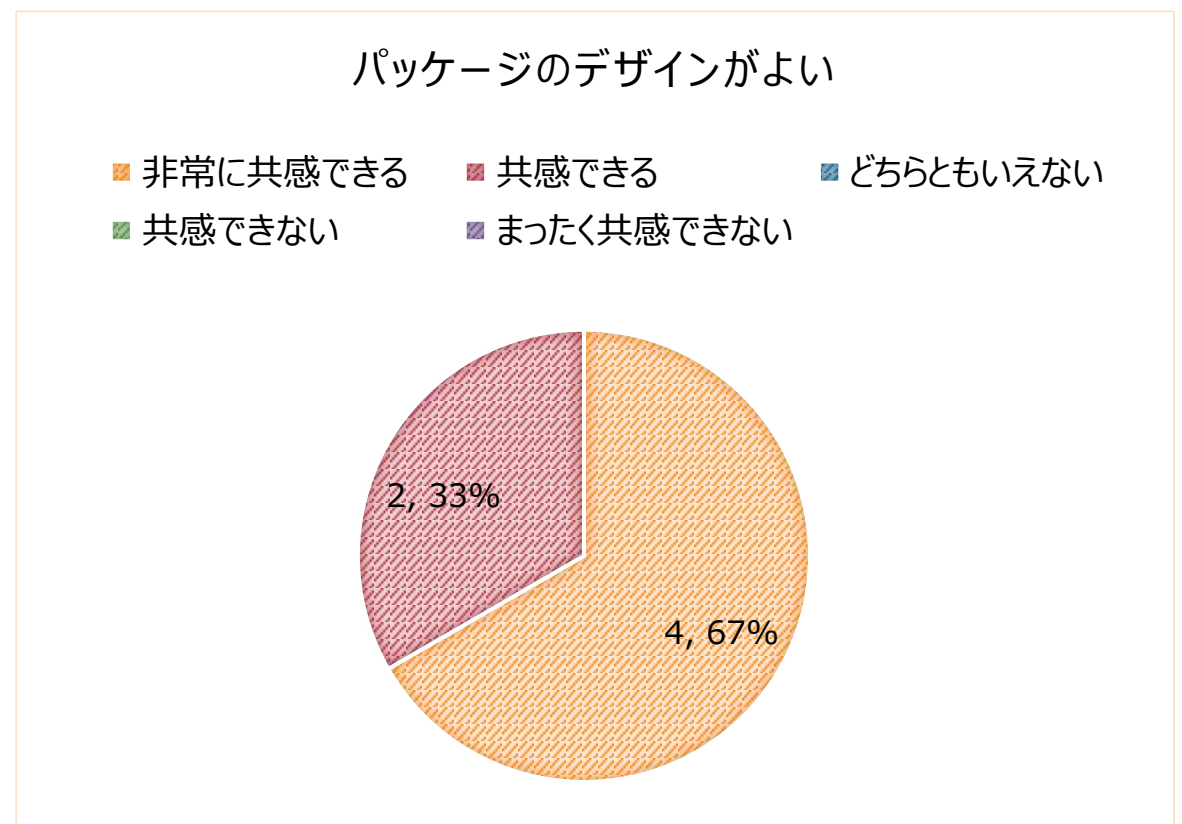
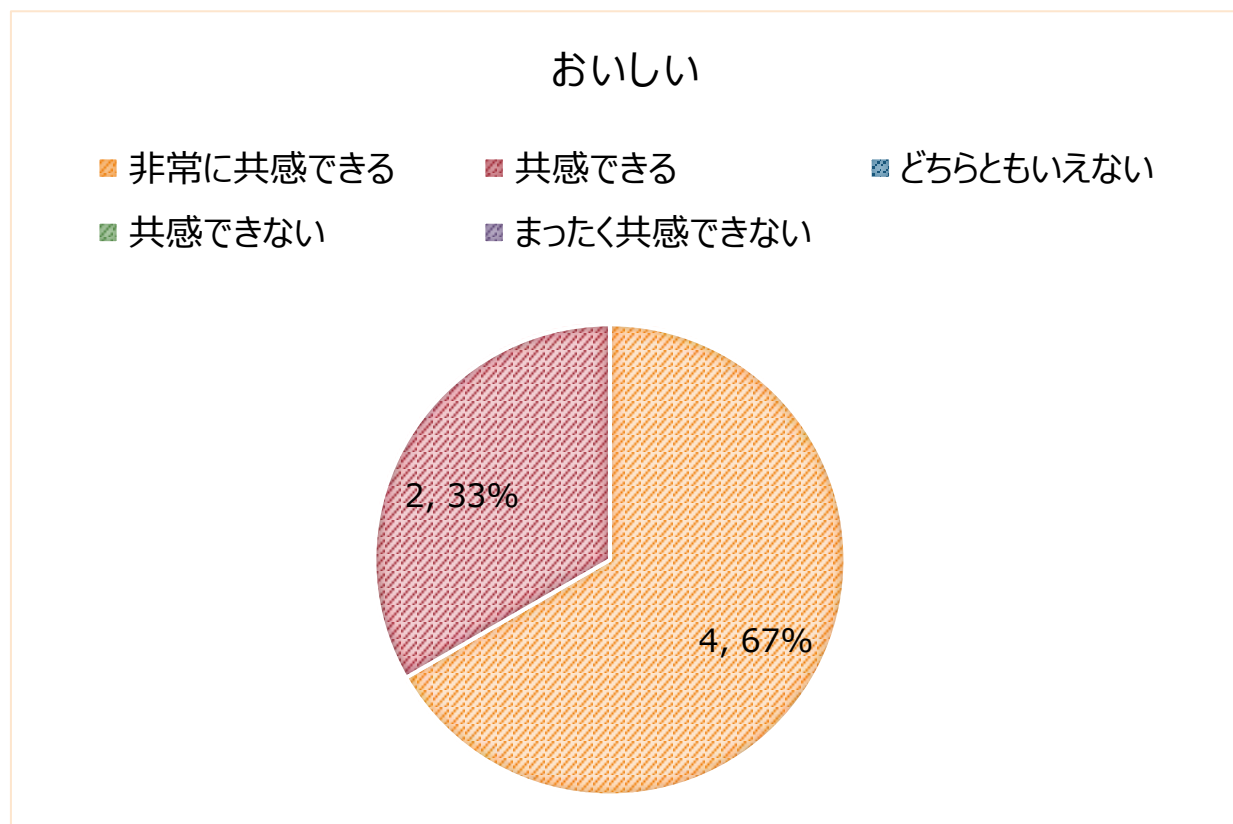
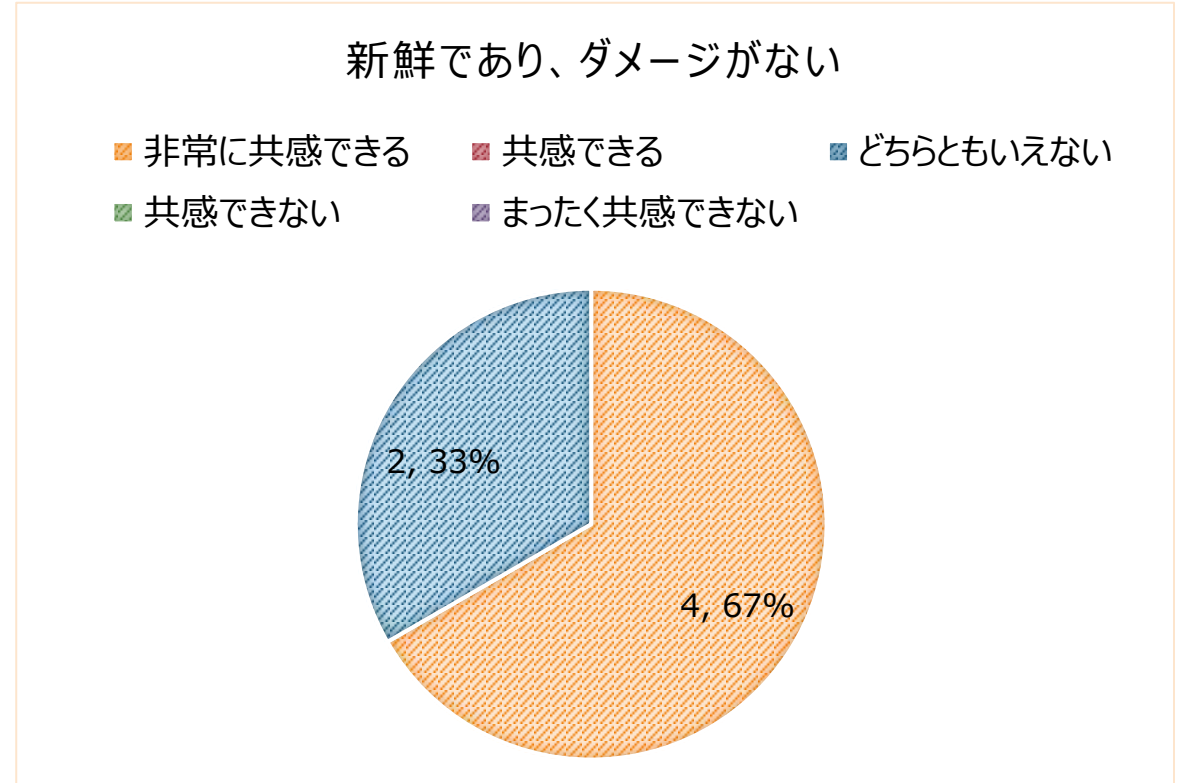
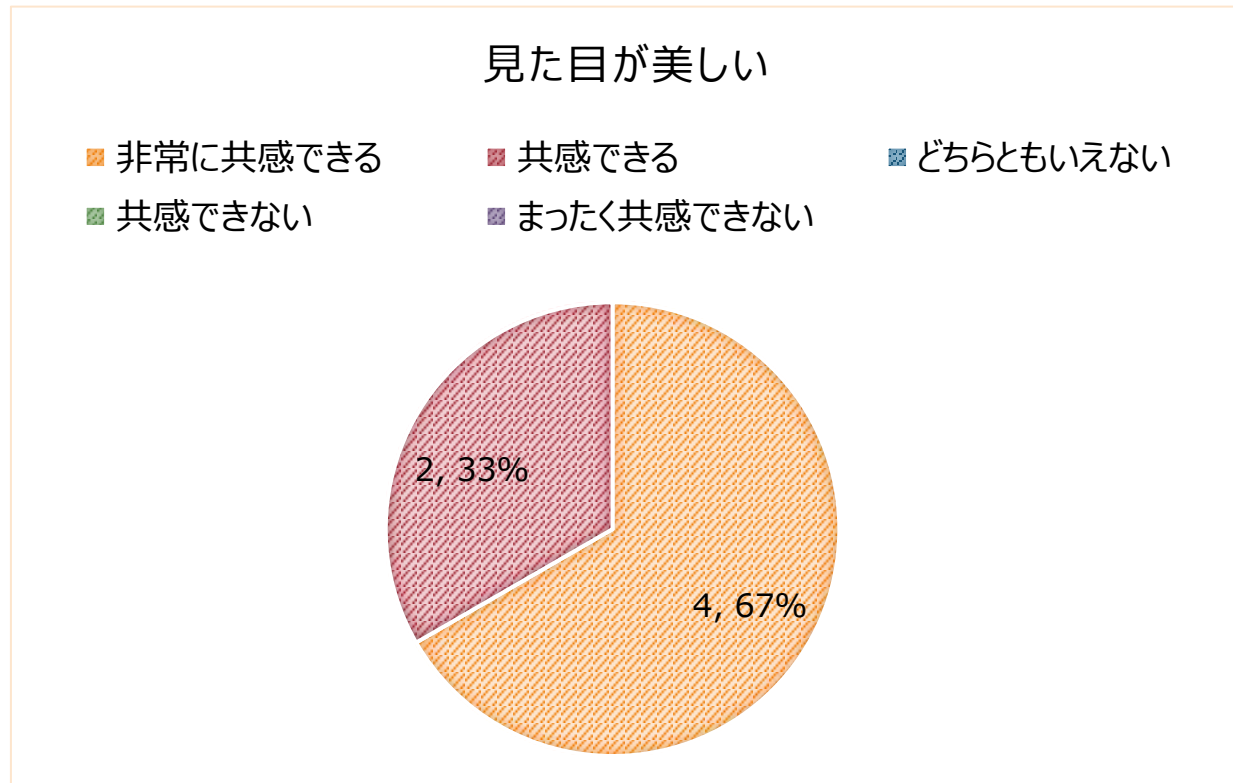
もも入れたのフルーツあんみ Instagram(@haylie_ben)
和系のカフェでのあんみつの喫食の写真を投稿
カフェ店舗：Fruit Paradise



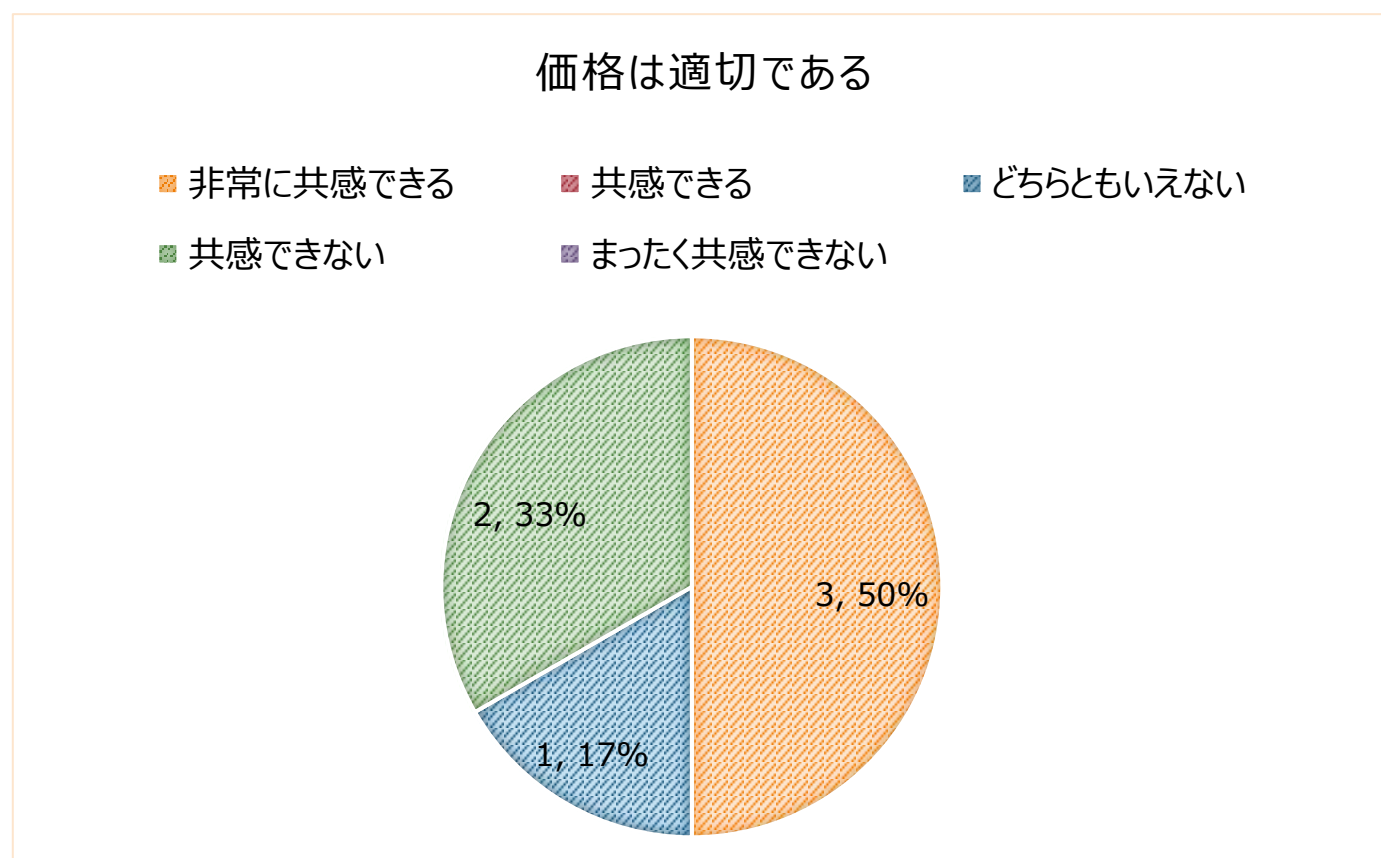
いいね 17件

日本産りんごを使用したフルーツゼリー カフェ店舗：TOKIO Fruits Café
Instagram(@winson.ahren_abccookingsg)
ゼリーと果物との相性の良さを感想として投稿

- 概ね高評価だが、香港／台湾に比べると低位の評価が多い
- 特に、新鮮さの面では、「共感できない」とする意見もあり、一部商材のサプライチェーン上での管理体制の改善余地がある可能性
- 価格でも「共感できない」とする意見があり、リピート購買を阻害する主因となっている



N = 6





以下、JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報（タイ）」より、青果物に関する項目をまとめた内容

味覚、嗜好上の特徴	・甘み、辛味、酸味のはっきりした味が好まれる ・健康志向の高まりから健康イメージのある日本食の人気が高い ・新しい物が好きで、新規のレストランには行列ができることがある ・SNS等で口コミ情報が伝わりやすい ・所得向上により食生活の多様化が進んでいる。また日本に観光する機会が増えたため、ローカライズされていない本格的な日本食を求めるタイ人も増えている
制度的制約	・輸入許可証取得の一連の手続きはタイ法人が行う ・タイ保険省告示420号「食品の製造方法、製造におけるツール・用具及び保管」により、輸入時には当局が定める基準と同等以上の基準に基づく規格等の証明が必要となる ・野菜、果物については、植物防疫での規制及び食品衛生の規制があり、品目によって必要な対応が異なるため注意が必要である ・コメ、茶など一部品目に関税割当が設定されている。また、植物防疫上の理由から玄米は輸入不可(精米は植物検疫証明書の添付で輸入可) ・油脂を使用した製品では、PHOを使っていない旨の製造事業者のレターが必要 ※規制に関しては、変更されることがあるので実際に輸出する前にその内容を確認することが必要です。
商流・物流・商習慣	・旧正月、クリスマスに中華系を中心に、バスケット等により詰め合わせのギフトを贈る習慣がある ・輸入に当たっては輸入業務ライセンスが必要で、輸入許可手続きはイに法人格がある企業のみ可能。タイ系大手小売企業は、確実に売れゆきが見込める商品以外は棚代を徴収し、売れ残りリスクをサプライヤーが負担する。棚代に20～30%を要し、輸入業者の利益を失ってしまうケースがある。加えて新規商品を棚に並べるに当たり、小売業者からエントリーフィーを求められることが多い ・輸入業者が卸を兼ねている場合が多い。小売、レストランへの配送のための保冷車等も保有している
外食・小売等の状況	・日本産食品が販売される小売店は、高級デパート、日系スーパーが中心。品目によりタイ現地産や他国産と競合 ・食品配送サービスが普及し、コロナウイルス禍でデリバリー市場が拡大
日本食普及状況等	・毎月のように開催される日本産食品フェア、多く存在する日本食レストラン等により日本産食品への人々の認識は高く、市場としての成熟度は高い ・加工食品：コールドチェーンの整備に伴い日本産アイスを扱う店舗が増えている。 ・麺文化があることからラーメンは人気がある。日本料理は寿司や刺身などのイメージが強かったが、最近はどうどんやそばの店も日本から進出している。とんかつ、お好み焼き、居酒屋料理なども人気がある ・富裕層を中心に本物の日本の味を求める傾向がある。訪日旅行客の増加につれてその傾向は強まっている。また、中間所得層においても日本への旅行客が増えており、日本産品に対して好印象を持っているが、日本産の輸入商品は値段が高く、なかか手が出せないのが現状である

出典：JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報」（タイ）



I .日本青果物の流通状況とモニター評価：モニターの属性と購入果実

TH

タイ

量販店・試食調査結果

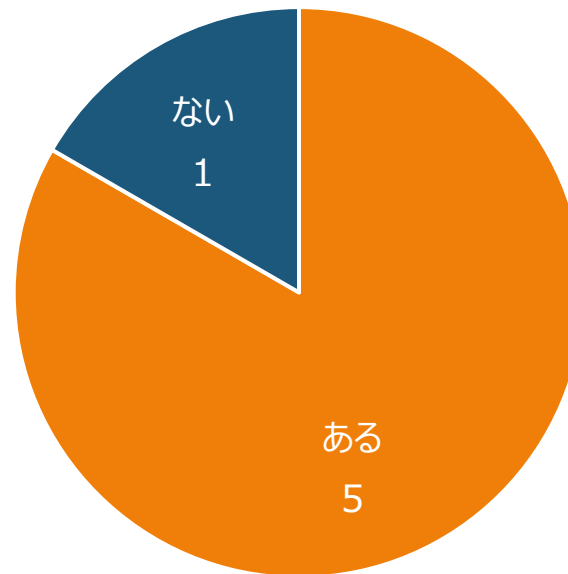
質問項目		回答					
		モニター 1		モニター 2		モニター3	
購入店舗名 (アンケート場所)		UFM Fuji Super	Dear Tummy Lifestyle Supermarket	Gourmet Market	Tops	SIAM Takashimaya	DON DON DONKI
店舗属性		日系スーパー	ローカルスーパー	ローカルスーパー	ローカルスーパー	日系デパート	日系デパート
日本青果物の販売状況	りんご	他国産	日本産/他国産	日本産/他国産	日本産/他国産	販売なし	販売なし
	ぶどう	日本産/他国産	日本産/他国産	日本産/他国産	日本産/他国産	販売なし	販売なし
	もも	日本産/他国産	日本産/他国産	日本産/他国産	他国産	日本産	販売なし
	かんきつ	他国産	他国産	日本産/他国産	他国産	販売なし	販売なし
	柿	他国産	日本産/他国産	販売なし	販売なし	販売なし	販売なし
	梨	他国産	他国産	日本産/他国産	他国産	販売なし	販売なし
	いちご	他国産	日本産/他国産	他国産	他国産	販売なし	販売なし
	かんしょ	他国産	日本産	販売なし	販売なし	販売なし	日本産
	メロン	他国産	日本産/他国産	日本産/他国産	他国産	販売なし	販売なし
	長芋	他国産	日本産/他国産	販売なし	販売なし	販売なし	販売なし
購入青果物の概要	購入した青果物 (当日)	ぶどう	りんご	-	りんご	もも	かんしょ
	品種	巨峰	千雪リンゴ	-	はなやか	-	ベにはるか/きんとき
	産地	福岡県	青森県	-	-	山梨県／熊本県	茨城県/徳島県
	購入価格	650THB (2670JPY)	280THB (2個) (1150JPY)	-	249THB(2個) (1025JPY)	800THB/1,200THB (3,293JPY/4,940JPY)	299THB/299THB (1,228JPY)
	糖度	18%	17%	-	13%	9%	15.5%



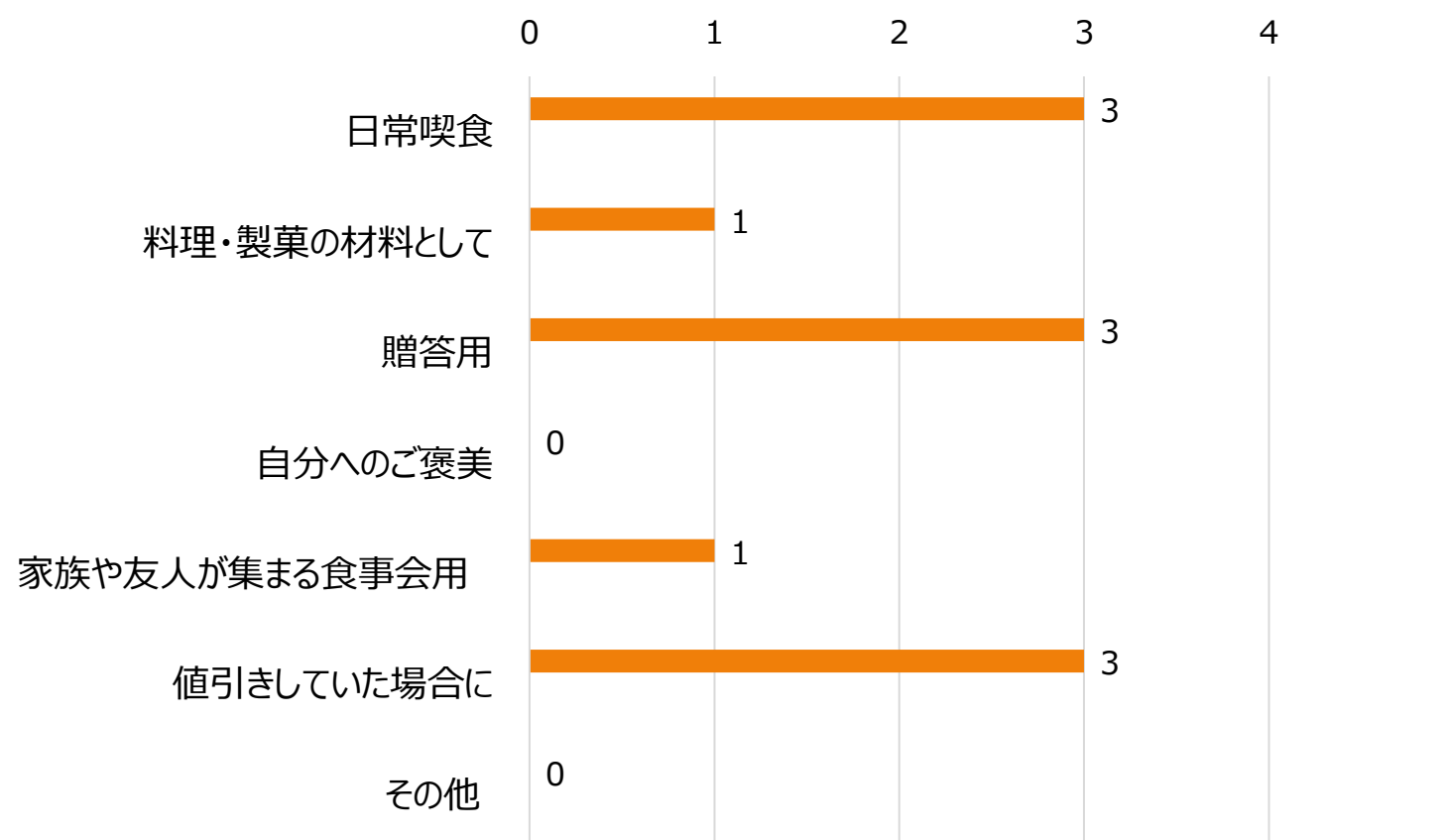
I. 日本青果物の流通状況とモニター評価：リピート購入可能性と理由 TH

- 同じ青果物のリピート購入は6名中5名が購入すると回答
- 購入しないと答えたモニターは主因として、見た目に満足がいらず、価格の高さと組み合わせて購入しないと回答していた
- 逆にリピート購入意向があるモニターの理由としては、贈答用に加え、値引き時には日常喫食用にと答えている

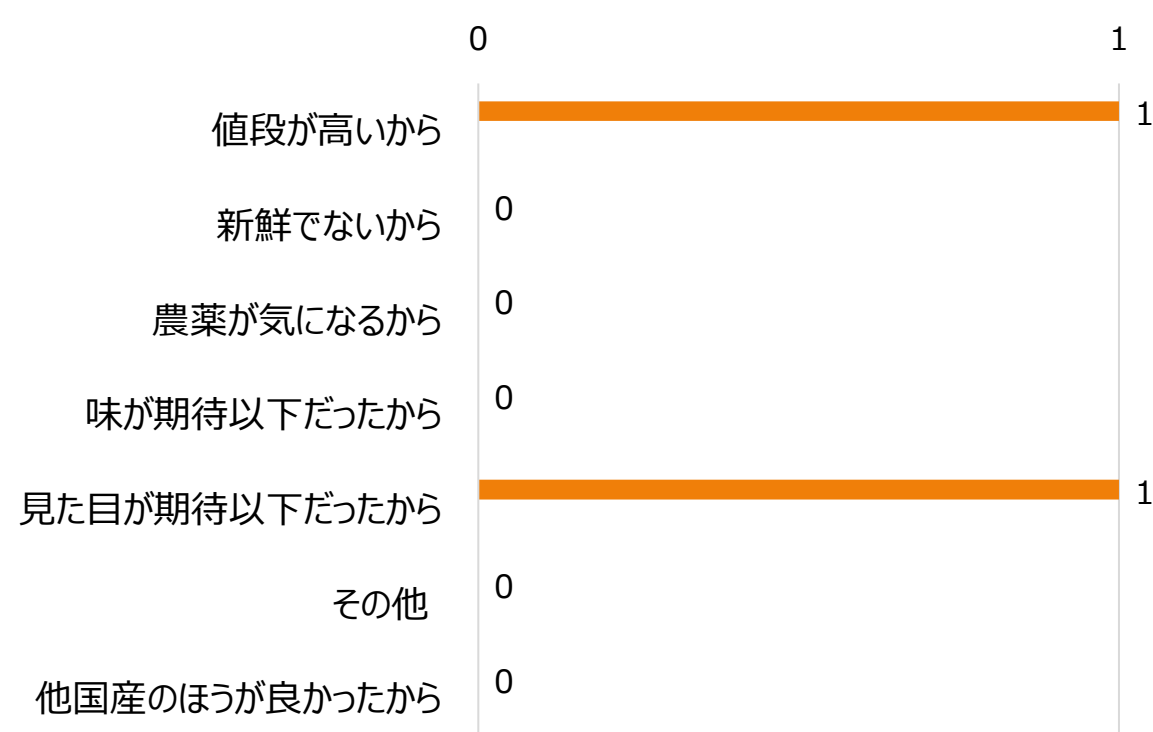
今後、同じ日本産青果物を買う可能性はありますか（N=6）



リピート購買理由／動機（N=5、複数回答可）



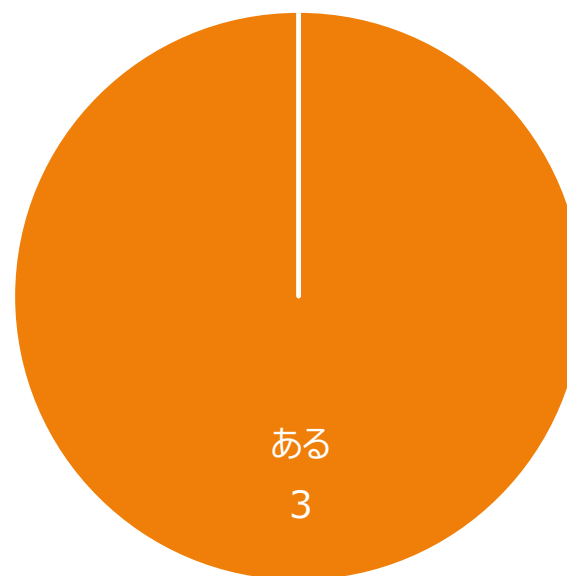
リピート非購買理由／動機（N=1、複数回答可）



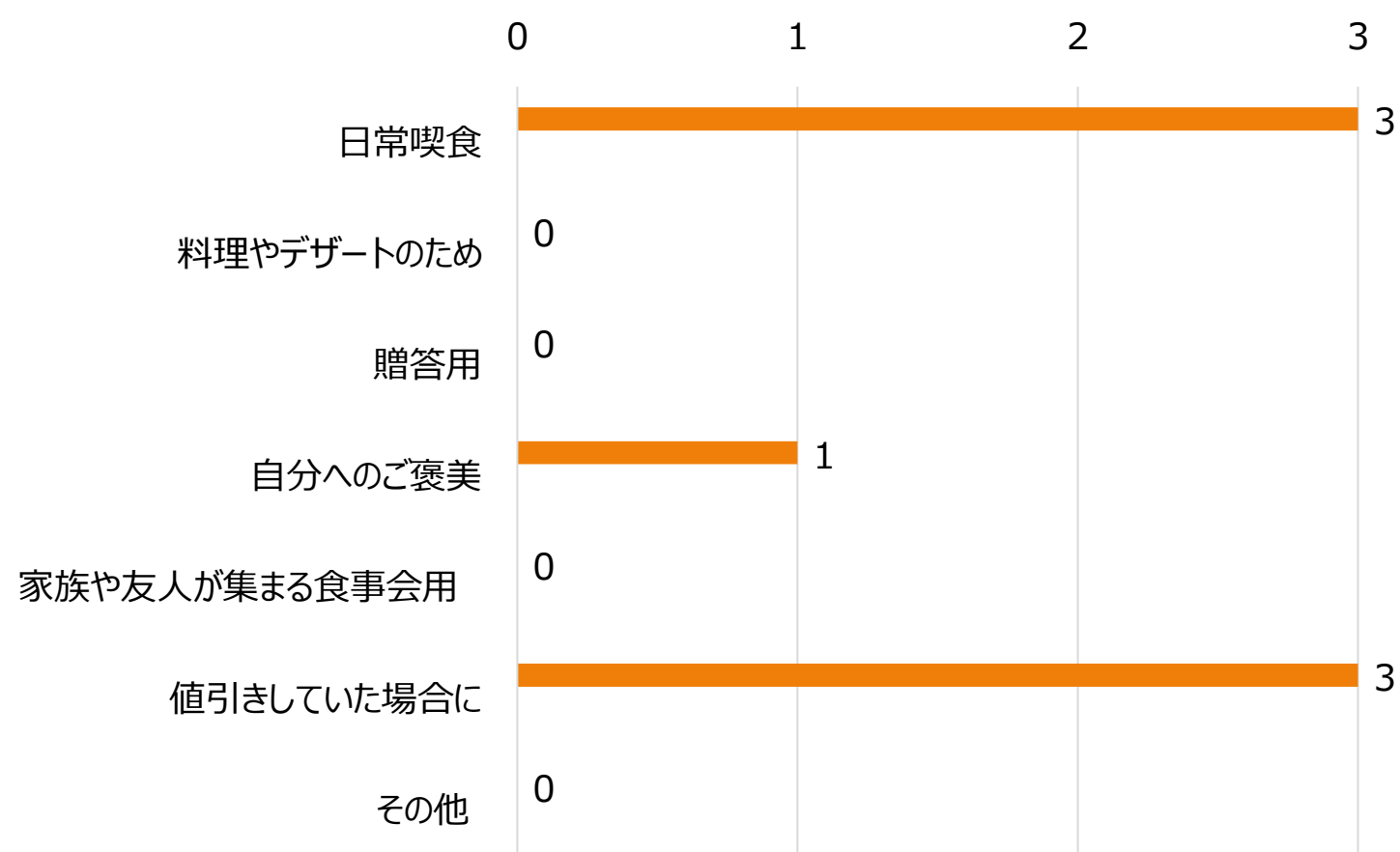
- りんごのジュースやジャム、さつまいもチップスが販売されていた
- 主に、日常の喫食として今回のモニターには日本ブランドの加工品が根付いている模様



今後、この加工品を買う可能性はありますか（N = 3）



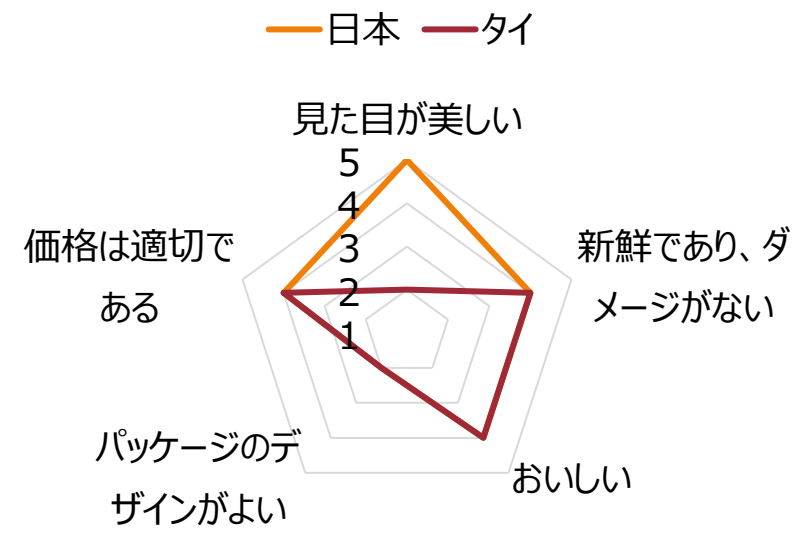
購買理由／動機（N=3、複数回答可）





Ⅱ.同一外国産との比較 (消費者コメント) – ぶどう・りんご

TH



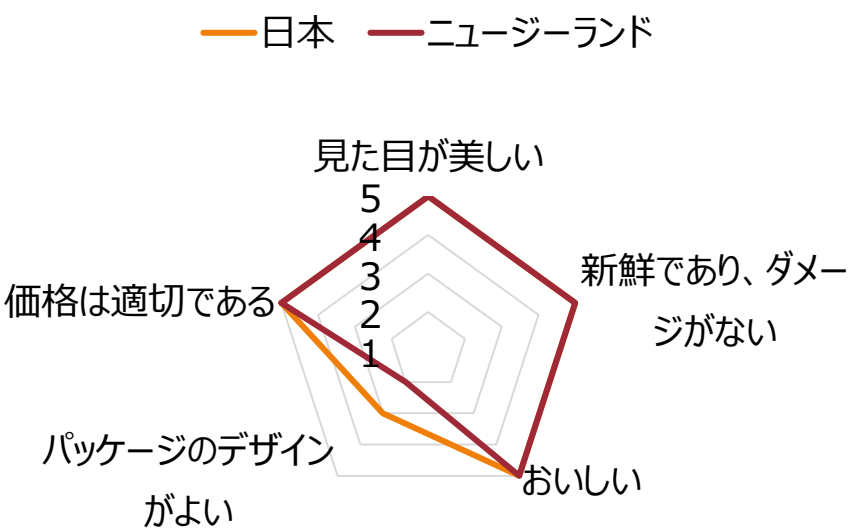
比較評価コメント

- 見た目については日本産が大きく引き離して好評価を得ているものの、その他項目では、同程度の評価
- ただし、総合的に特別感などもあいまって、比較するなら日本産青果物を購入したいとの意見

品目比較による示唆

- タイ産のぶどうとは異なるセグメントや商品として現地での認識ができており、競合として留意する必要は低いと想定される

品種	巨峰ぶどう（福岡県）	タイぶどう（タイ）
写真		
価格	650THB(2670JPY)	58.75THB(240JPY)
糖度	18%	19%



比較評価コメント

- パッケージについて、日本産が相対的に高評価なものの、味や新鮮さや商品自体の見た目に関しては、ニュー時ランドと大きな差異はない

品目比較による示唆

- 双方ともに高い評価を得ており、購入の目的やタイミング、用途などによって、選択されるものと想定される

品種	千雪りんご（青森県）	ニュージーランドりんご（ニュージーランド）
写真		
価格	280THB/2個 (1150JPY)	79THB/2個 (325JPY)
糖度	17%	12%

- 現地ドン・キホーテでは、さつまいもコーナーを設置し、日本語での大きな看板やのぼりで陳列することで、顧客の目にとまるような工夫がされていた
- タイでつくられたNAVITA MELONが販売、POPなどで大きくプロモーションもされていた。日本品種（マスクメロン）をタイにて生産しており、ラベルには日本の国旗とタイの国旗が描かれている。NAVITA MELONは現地でハイブランドとしての認知を獲得しており、航空会社やハイグレードのホテルなどでも採用されている模様



- 他国産青果物のセールが行われていた。そのポップには日本語での表記が見られた

項目	①
原産国	ニュージーランド
青果物	かき
販売価格	88 THD (362 JPY/ パック)
販売場所	UFM Fuji Super



- 現地のシャトレーズでは、「日本産メロンのレアチーズケーキ」（100THB/410JPY）、「日本産いちご入れたフルーツケーキ」（115THB/470JPY）等の日本産青果物を利用した洋菓子が販売されている
- レアチーズケーキのクリームチーズとメロンとの組み合わせは相性がいいと高評価を得ている



- スペシャルティコーヒーを特徴とするカフェ「Lynx Coffee」では、「和歌山産白桃タルト」（250THB/1025JPY）が販売されている
- コクがある食感が味わえる、コンポート仕立ての調理が好評を得ている



日本産青果物を試食した様子、外食のレストランやカフェの購入店舗の情報や、商品についての説明などを紹介
※いいね・コメント数は2023年7月31日時点

量販小売店舗より購入後自宅での喫食体験のSNS情報配信



いいね 27件

紅はるか・鳴門金時 かんしょ Instagram (@pookokung)
ドン・キホーテで購入したさつまいもの喫食の感想を投稿



いいね 18件
コメント 3件

岡山産青りんご（はなやか） Instagram (@kooori_iz)
はなやかりんごの喫食での香りや味の感想を投稿「香ばしく、切るだけでいい匂いを感じた。青りんごは酸っぱいリンゴのイメージだったが、とても甘く美味しかった」



いいね 99件

福岡県産 巨峰 かんしょ Instagram (@eu_euka)
巨峰ぶどうの甘酸っぱさやジューシーさなど喫食の感想を投稿



いいね 58件
コメント 3件

山梨・熊本 もも Instagram (@pookokung)
Siam TakashimaのSUN FRESH香りがいい、柔らかくて甘くてジューシーな喫食の感想を投稿

日本産青果物利用した外食レストラン・カフェ店舗のSNS情報配信



いいね 116件

和歌山県産 白桃タルト Instagram (@eu_euka)
和歌山県産の新鮮な桃の甘さとジューシーさをコメント
カフェ店舗： LYNX COFFEE



いいね 29件

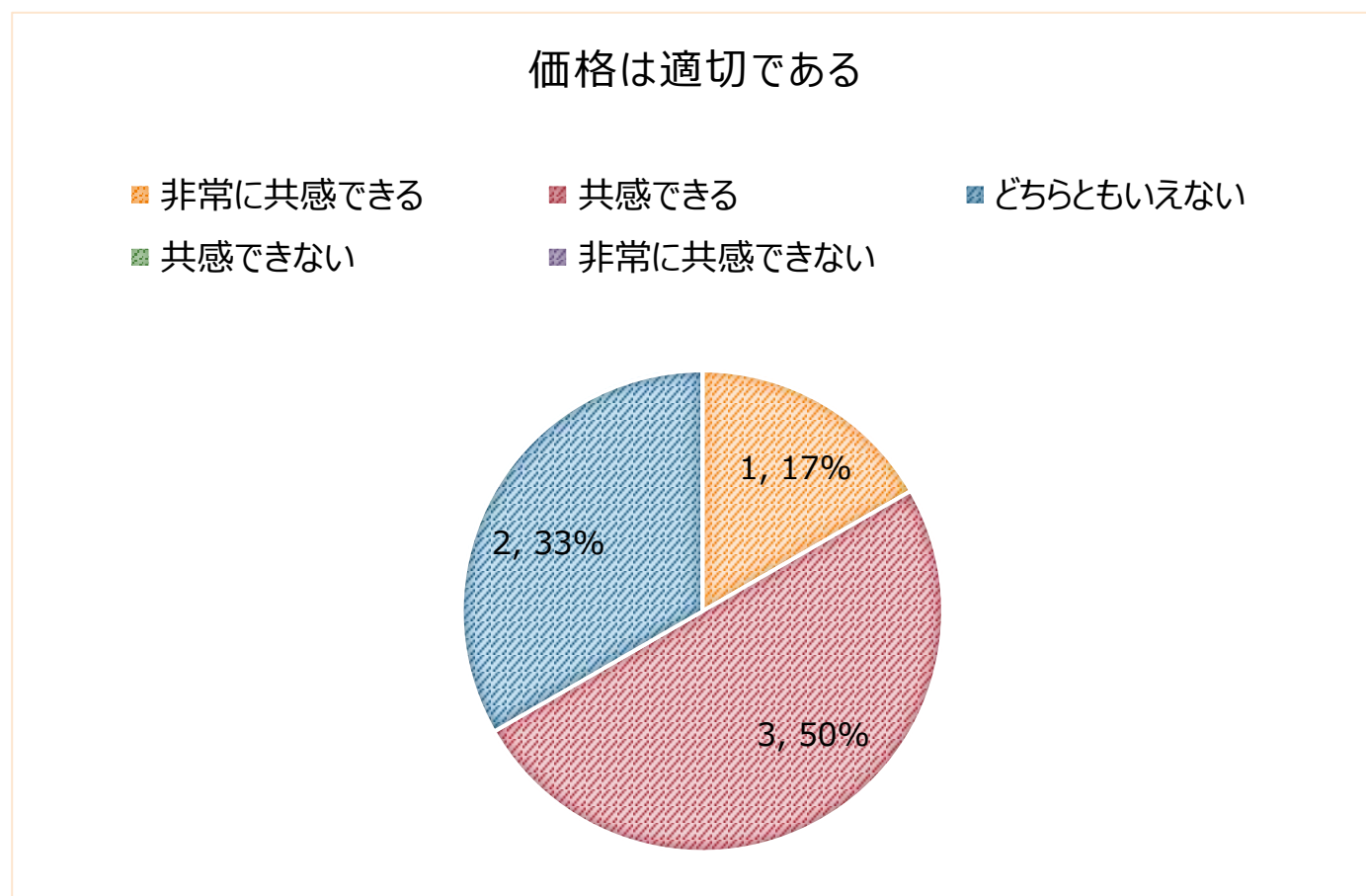
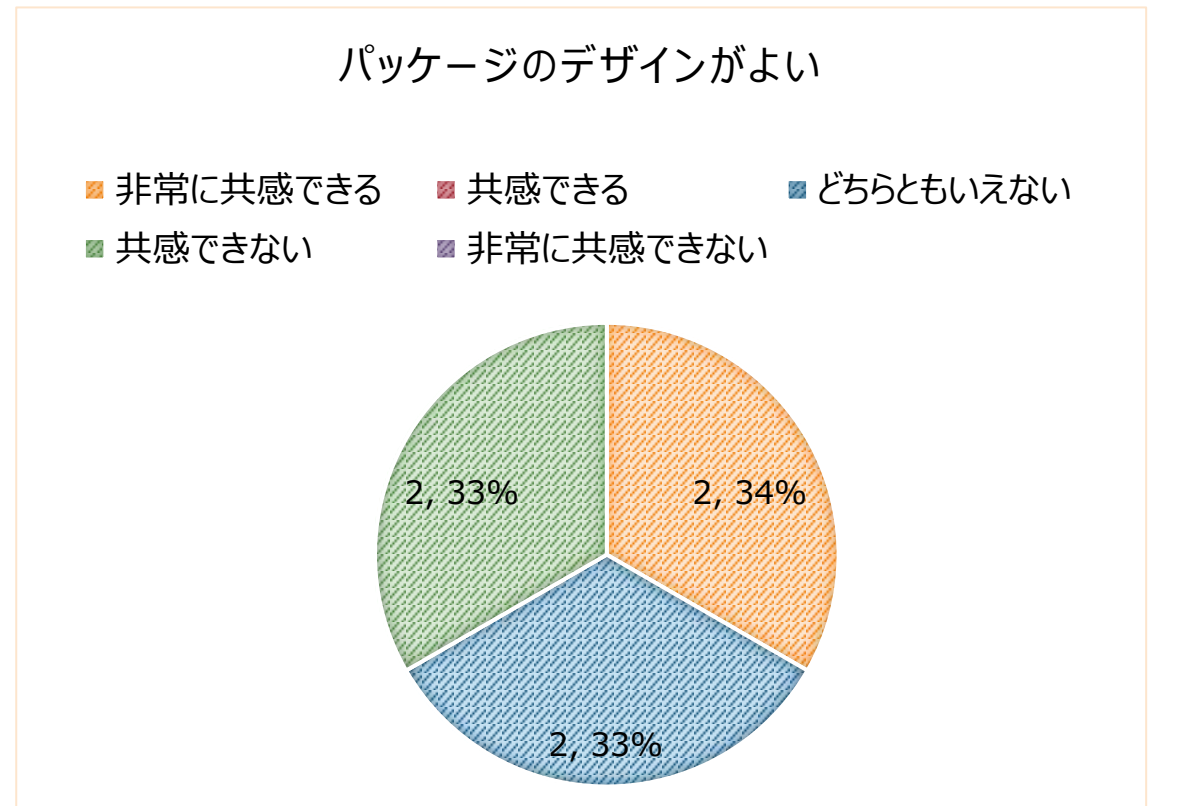
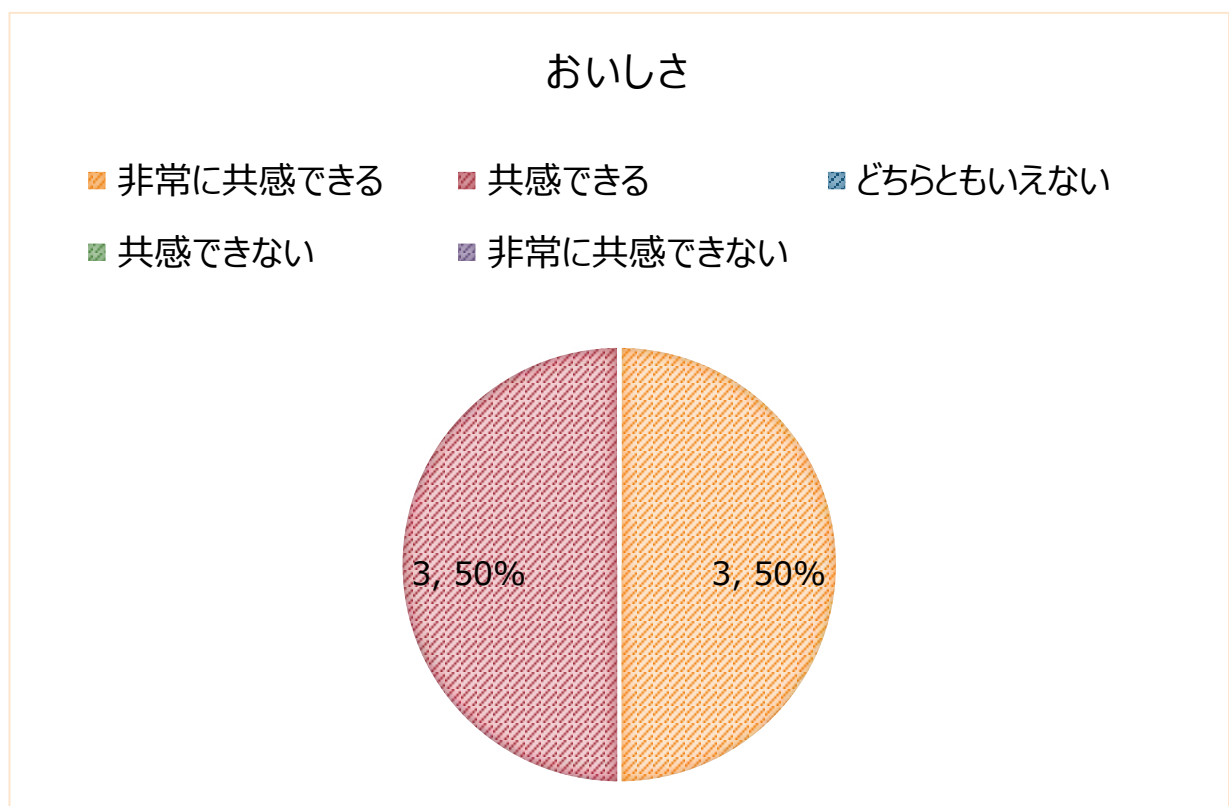
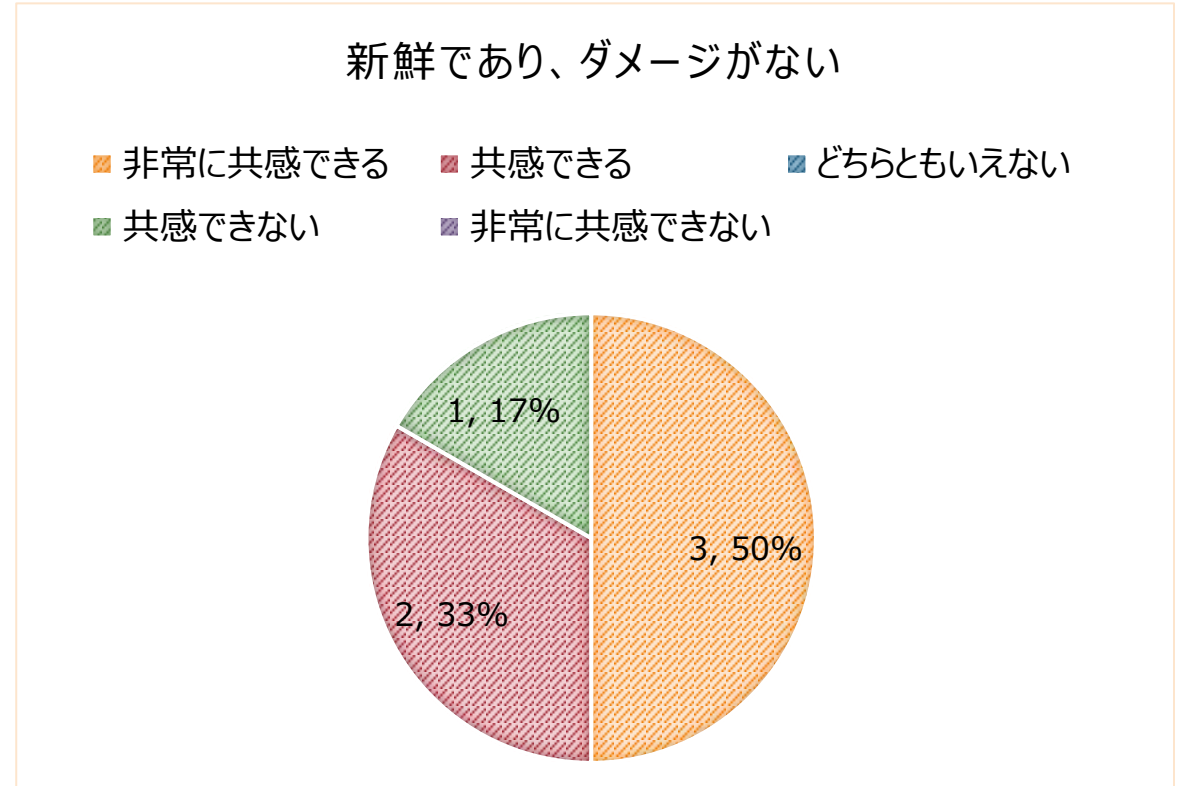
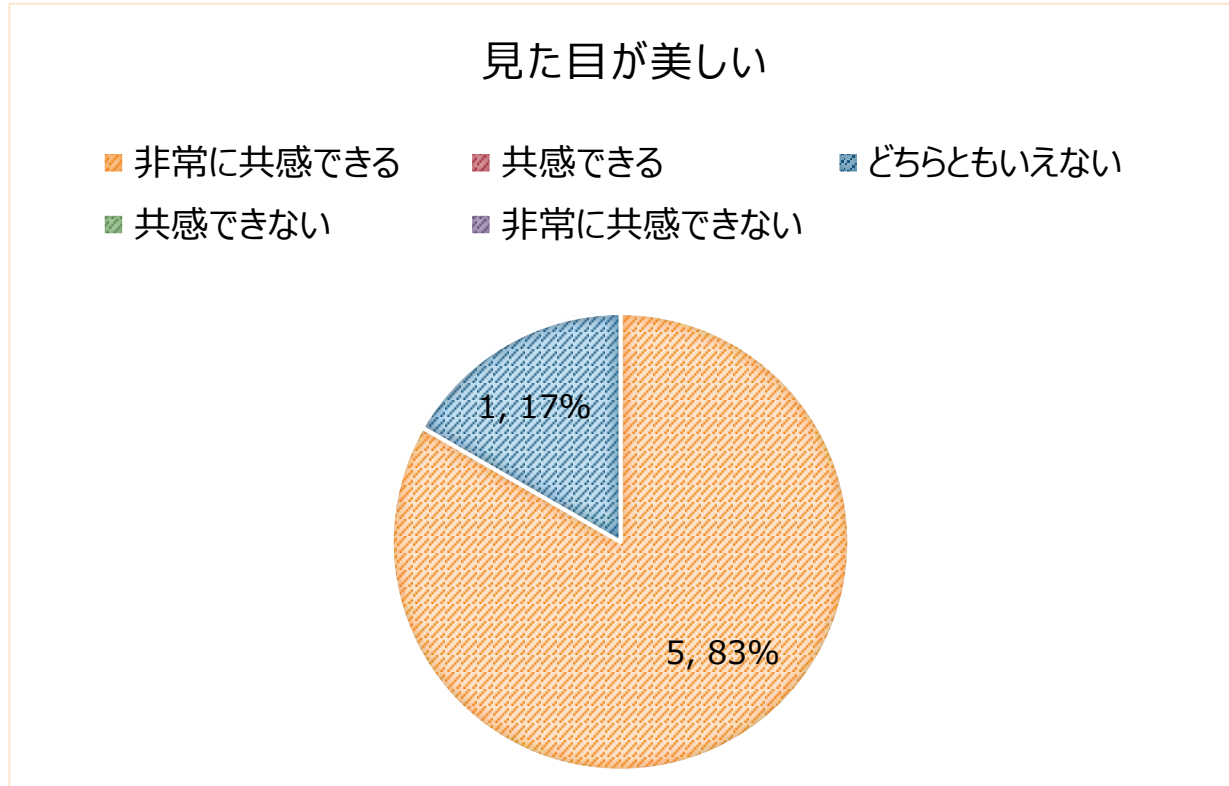
山梨県産 白桃生クリームショートケーキ (@kooori_iz)
YAMANASHI PEACH FAIR旬の桃をショートケーキの材料として調理した写真を投稿
カフェ店舗： Châteraisé Thailand



IV. 日本産青果物に対する印象や国ごとの特徴

TH

- 見た目、味の評価は他国と同様に高い
- 価格は、他国と比較しても強い抵抗感は見取れない
- 他方、特徴としては、商品の新鮮さとパッケージに関しては、「共感できない」との意見がみられており、改善の余地があるケースが見受けられる



N = 6



以下、JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報（マレーシア）」より、青果物に関する項目をまとめた内容

味覚、嗜好上の特徴	・食文化にも民族構成が色濃く反映 ・近年、健康志向や美容への意識が富裕層・中間層を中心に高まりを見せている。食品スーパーやドラッグストアにおいて、オーガニックや自然食品、サプリメント売場が充実するなど市場も拡大している
制度的制約	・食品の輸入管理は、マレーシア保健省（MOH）の食品安全品質管理部とマレーシア関税局が協力して実施している ・具体的には、オンライン食品安全情報システムFoSIM(Food Safety Information System of Malaysia) を用いて、食品輸入の管理を行っている ・輸入許認可は、①輸入ライセンス (Import License)、②輸入許可(IP：Import Permit)、③承認許可証（AP：Approved Permit）の3つに大別される ・加工食品：輸入規制ではないが、ムスリム（イスラム教徒）をターゲットとする場合は、ハラール認証が求められる場合がある ・青果物：2015年1月以降、一部の品目（みかん等かんきつ類）については農業省から輸入許可証 (Import Permit) を取得することが追加で義務付けられた ・マレー語又は英語のラベル表示のない輸入食品の販売は、1985年食品規則違反 ※規制に関しては、変更されることがあるので実際に輸出する前にその内容を確認することが必要です。
商流・物流・商習慣	・日本から輸入される食品は、輸入・卸売業者経由で小売店・レストランに販売されるのが一般的 ・輸入許認可の対象品目が細分化していることもあり、青果物、肉類、酒類、加工食品、水産品、林産品など、すべての品目を一括して扱う輸入業者はおらず、品目毎に主要輸入・卸売業者は異なる
外食・小売等の状況	・日本産食品は伊勢丹・Don Don Donki・Jaya Grocer・Village Grocer・B.I.G.等の高級スーパーを中心に販売される他、近年は輸入業者が直接EC販売するケースも増えている。2023年秋にはSEIBUデパートの開業も予定されている ・日本のスイーツ専門店が増加しており、生クリームを使ったケーキ、抹茶アイスクリーム、チーズケーキを供する店舗が地場資本またはフランチャイズで展開している ・一人あたり200～1,000RM(約6千～3万円)の「OMAKASE」コースを提供する高級日本食レストランがブームとなっている
日本食普及状況等	・ノンハラールの商品も輸入規制を満たせば輸入可能である ・焼き芋が定着しており、日本からのサツマイモが安定して輸入されている。サツマイモ単体での販売だけでなく、焼き芋機も日本から輸入して店頭で実演販売を行う場合が多い ・品質の高い日本産青果物は人気が高く、富裕層を中心に浸透し始めている。果物ではもも、ぶどう、メロン、いちご等が人気。野菜では、ながいも、大根、かぼちゃ等を中心に人気が高いが、現地でも栽培されているトマトや葉物野菜などの一部品目では価格差が大きく、価格差以上に特徴・付加価値のある商品でなければ輸入のハードルが高い ・コロナ禍でバイヤーニーズが高い品目は、①在宅向け商品(インスタント、レトルト、冷凍食品、菓子等) ②健康・機能性食品(茶、野菜ジュース、納豆等) ③嗜好性の高い食品(和牛・水産品・アルコール・青果物)

出典：JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報」（マレーシア）



I .日本青果物の流通状況とモニター評価：モニターの属性と購入果実 MY

マレーシア

量販店・試食調査結果

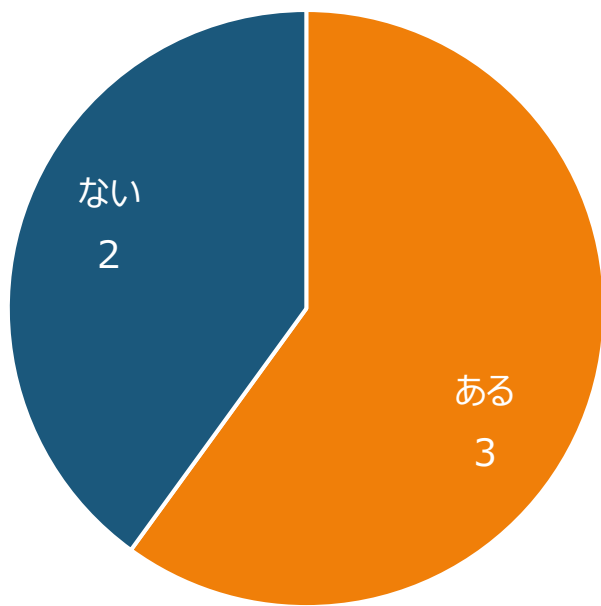
質問項目		回答					
		モニター 1		モニター 2		モニター3	
購入店舗名 (アンケート場所)		The Food Marchant Pavilion Bukit Jalil		Jaya Grocer Mid Valley Megamall		Bens Independent Grocer Publika KL	
店舗属性		ローカルスーパー		ローカルスーパー		ローカルスーパー	
日本青果物の販売 状況	りんご	日本産／他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
	ぶどう	日本産／他国産		販売なし		日本産／他国産	
	もも	日本産／他国産		販売なし		日本産／他国産	
	かんきつ	他国産		販売なし		日本産／他国産	
	柿	他国産		販売なし		他国産	
	梨	他国産		販売なし		他国産	
	いちご	他国産		販売なし		日本産／他国産	
	かんしょ	日本産／他国産		販売なし		日本産／他国産	
	メロン	日本産／他国産		日本産／他国産		日本産／他国産	
購入青果物の概要	長芋	日本産／他国産		販売なし		他国産	
	購入した青果物 (当日)	梨	もも	りんご	メロン	ぶどう	もも
	品種	幸水梨	もも	ふじりんご	Japanese Melon Earl Musk	シャインマスカット	香川桃
	産地	千葉	香川	－	－	日本	香川
	購入価格	59.9 MYR (1878.68 JPY)	69 MYR (2,097JPY/2個)	14.90 MYR (453JPY/2個)	149 MYR (4,528 JPY)	119 MYR (3,616 JPY)	69 MYR (2,097JPY/2個)
購入青果物の概要	糖度	13%	12%	11%	8%	11%	18%



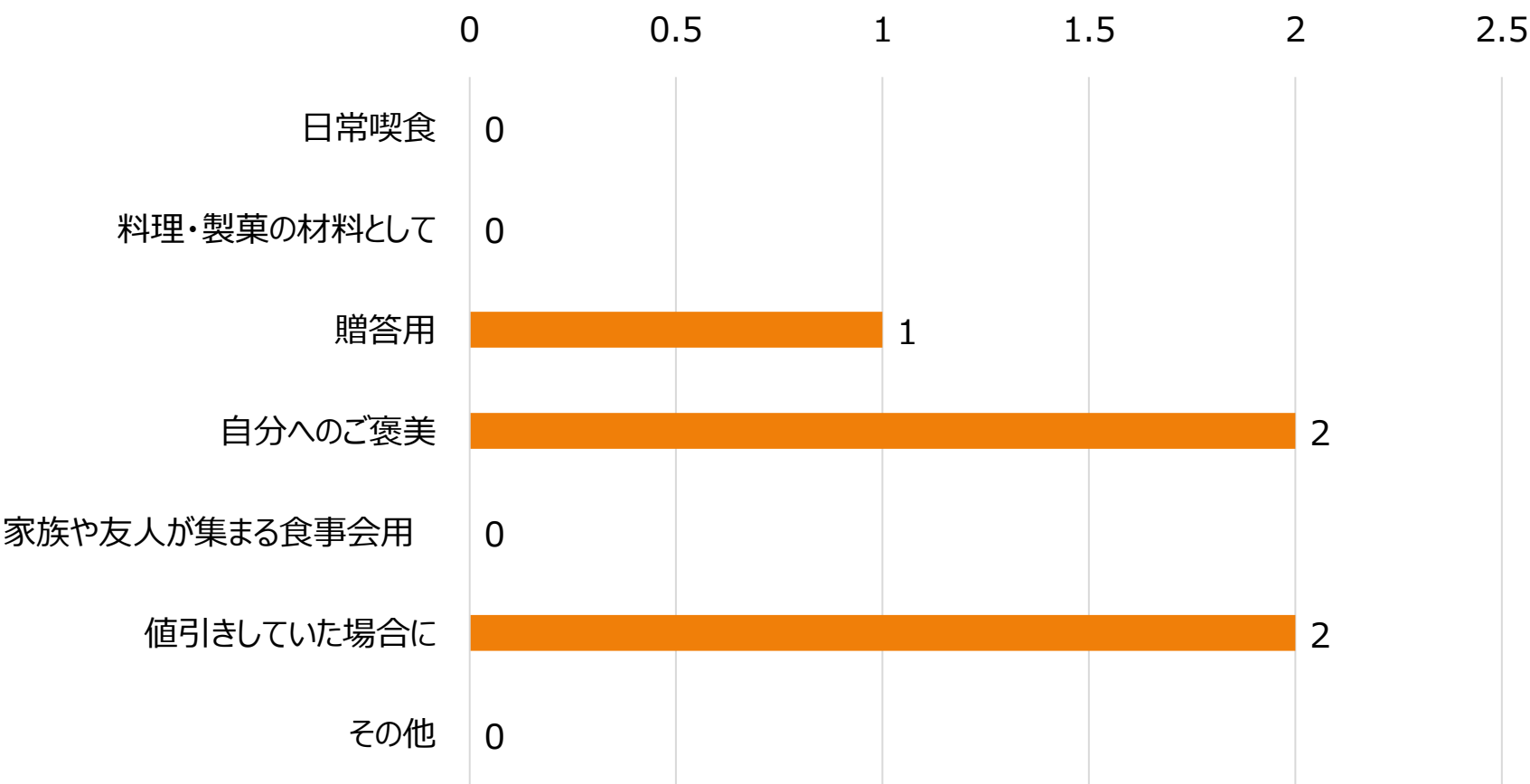
I .日本青果物の流通状況とモニター評価：リピート購入可能性と理由 MY

- 今後同じ日本産青果物を買う可能性があるかという質問に対して、「ない」と回答した 2 件について、いずれも商品の鮮度に問題があることが理由として挙げられていた
- 一方で、購入する可能性が「ある」との回答については、自分へのご褒美や、贈答用に、値引きなどを勘案して購入している

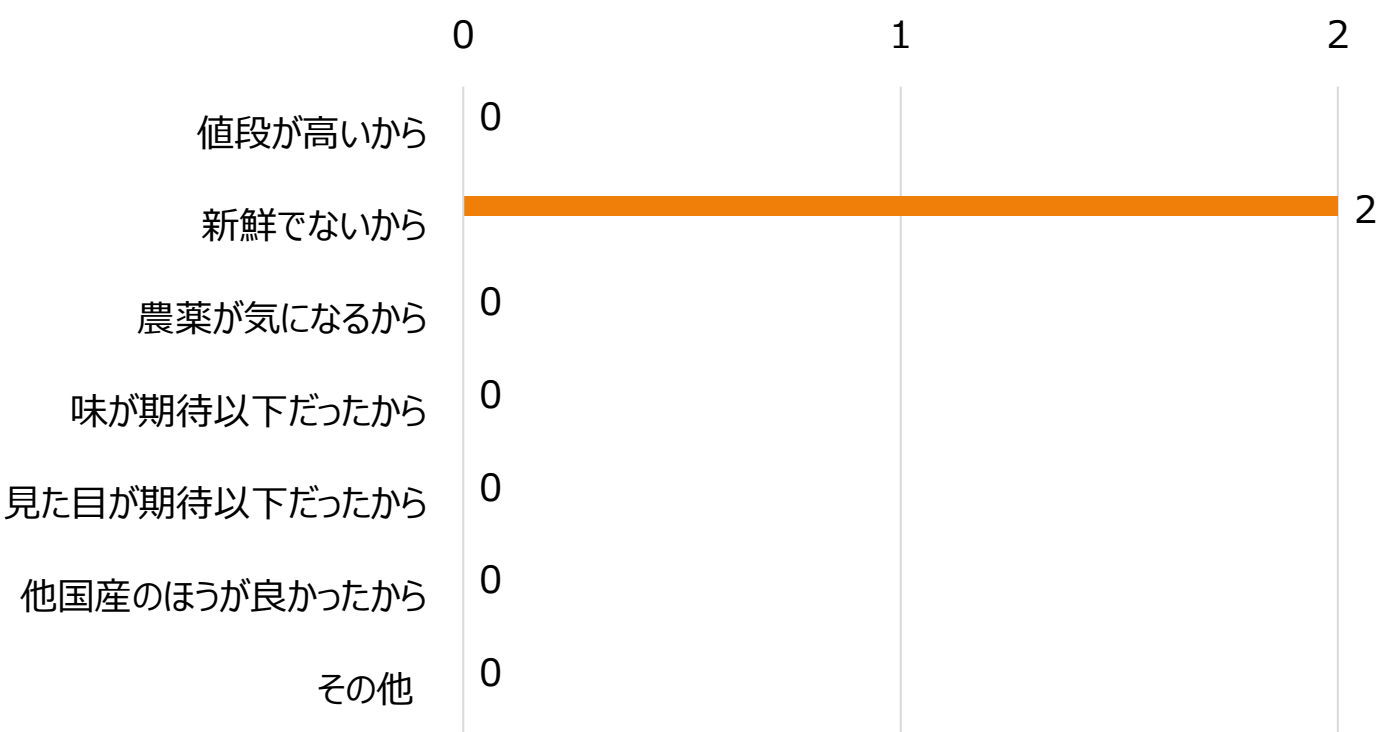
今後、同じ日本産青果物を買う可能性はありますか（N = 5）



リピート購買理由／動機（N=3、複数回答可）



リピート非購買理由／動機（N=2、複数回答可）

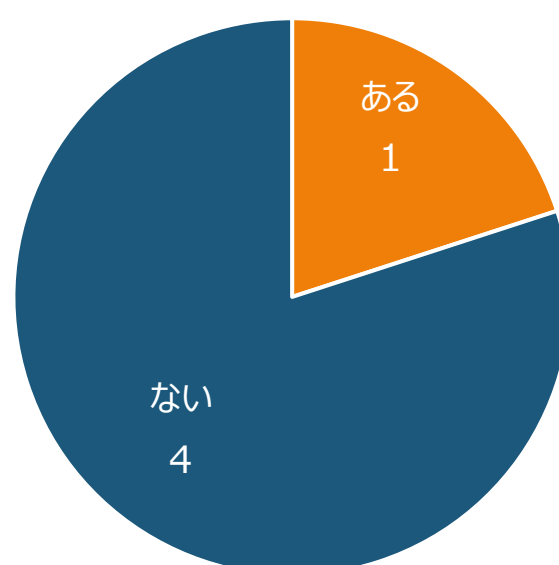


- ももを使った加工品（グミ、ジュース、ゼリーなど）や、北海道産のりんごやメロンを使ったグミやゼリー等の多くの販売が見られるものの、多くのモニターがこれらの加工品を再購入する可能性はないと回答している
- 「PRODUCT OF JAPAN」と表記があるものに関しては日本で製造していても、海外の青果物を使用している場合があり、日本製の加工品と日本産青果物を使っている加工品の間での違いを判断するのが難しい可能性がある。



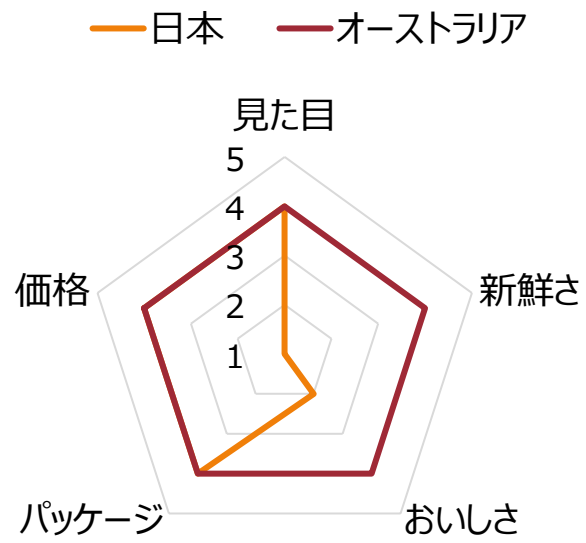
白桃ゼリー
Product of Japan
であるが、
原材料名には
“白桃(果実(中国))”
とある。

今後、この加工品を買う可能性はありますか（N＝5）



購買理由／動機（N=1、複数回答可）

	0	1
日常喫食	0	
料理・製菓の材料として		1
贈答用	0	
自分へのご褒美	0	
家族や友人が集まる食事会用	0	
値引きしていた場合に	0	
その他	0	



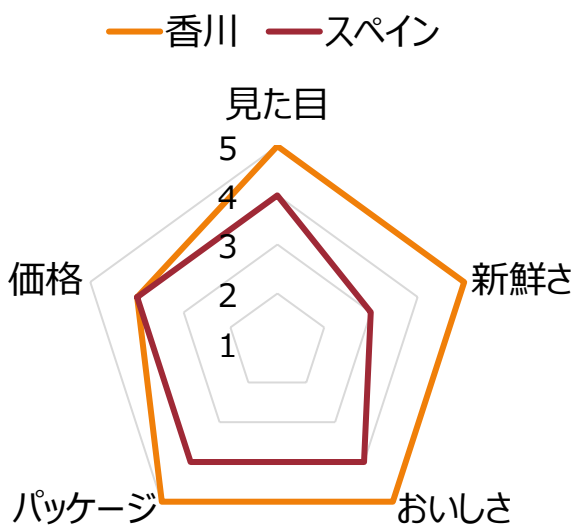
比較評価コメント

- 新鮮さ、美味しさの面で日本産の方が評価が大きく下回っており、見た目やパッケージなどの他の項目は同程度という結果となっている
- 鮮度の低さが悪い印象もったため、再購入の可能性はない

品目比較による示唆

- 鮮度の評価に対して、サプライチェーン上のどの領域に問題があったのか、他品目はどうなのかは今後精査が必要

品種	アールマスクメロン（日本産）	メロン（オーストラリア産）
写真		
価格	149 MYR (4,528JPY/2個)	21.37 MYR (649 JPY)
糖度	8%	12%



比較評価コメント

- 全体として、香川県産の評価がスペイン産の評価をやや上回っていた
- 新鮮さと味の面の評価が日本産の方が特に高く、次回購入するなら日本産が良いというコメント

品目比較による示唆

- スペイン産との比較に関しては、総合的に日本産が優位な評価を獲得できる可能性があり、更なる拡販も期待できる

品種	白桃（香川県）	白桃（スペイン）
写真		
価格	69 MYR (2,097 JPY)	22.99 MYR (699 JPY)
糖度	18%	20%

- ローカル系の高級スーパーであるJaya Grocerでは、ゼスプリが“So Healthy So Tasty”と題してキウイの大規模なプロモーションが行われていた
- ニュージーランド産のAPPLE-ENVYも大きな棚を確保して、パッケージ販売を実施



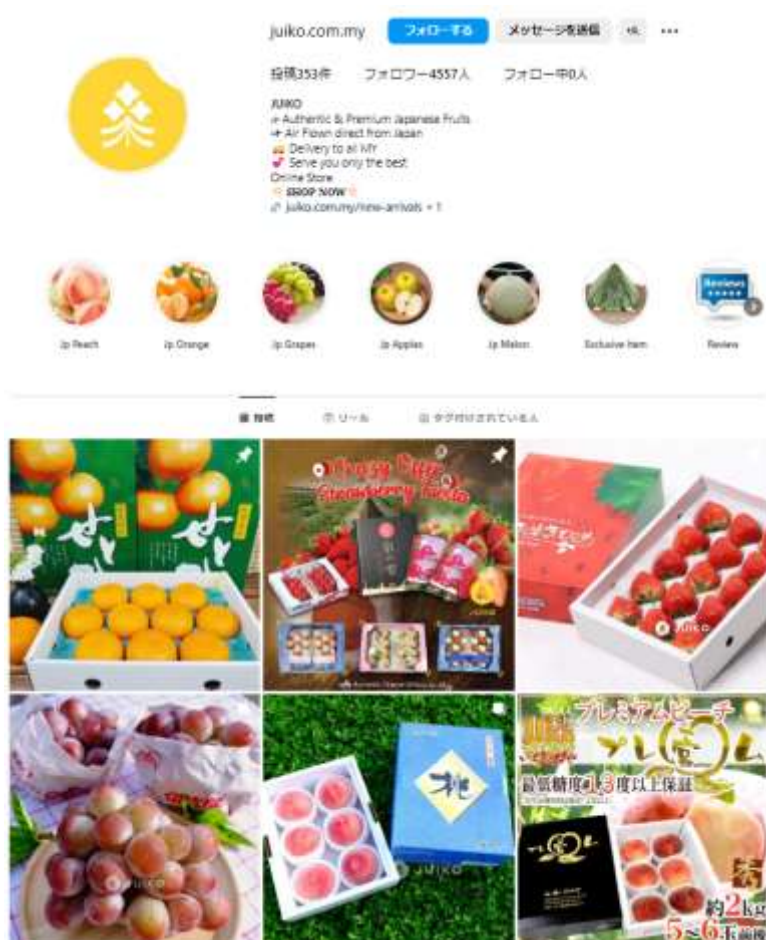
- マレーシア産のちとせめろんのパッケージ（『ちとせめろん』）、中国産のシャインマスカットのパッケージ（晴王ズドウ）では、日本語での表記がなされており、日本産という誤解を招く可能性があるものと想定される



- 日本のスイーツショップ「シャトレーゼ (Châteraisé)」はマレーシアにも出店しており、今回の調査では3名のモニター全員がシャトレーゼで日本産青果物のスイーツを購入していた
- シャトレーゼでは調査期間に「Japanese Melon Fair」と「YAMANASHI PEACH FAIR」を期間限定で実施しており、「日本産メロンのジュレグラス」(35.50MYR/1,079JPY) や「山梨県産白桃のタルト」(28.50MYR/866JPY) が販売されていた



- 日本産青果物を扱うECサイト「JUIKO」が注目されている。



Instagram @juiko.com.my

JUIKOホームページ :
<https://juiko.com.my/index.php?route=common/home>

日本産青果物を試食した様子、外食のレストランやカフェの購入店舗の情報や、商品についての説明などを紹介
※いいね・コメント数は2023年7月31日時点

量販小売店舗より購入後自宅での喫食体験のSNS情報配信



香川もも Instagram (@hungrypammy)
見た目がよく、Japan Kagawa Momo 2pcsで RM69 で販売されている



香川もも Instagram (@loccoberrylifestylediary)
ももの旬でジュースでとても美味しい！THE FOOD MERCHANTで買えますよ



佐賀県産シャインマスカット Instagram (@hungrypammy)
夏の日本産シャインマスカットでHappy weekend!



りんご Instagram (@ joy_n_apron_lunchbox)
日本産りんごの喫食体験と感想を投稿

日本産青果物利用した外食レストラン・カフェ店舗のSNS情報配信



香川もも、シャインマスカット Instagram (@hungrypammy)
日本産のももとシャインマスカットを使ったクレープのメニューと喫食感想とともに



山梨白桃 Instagram (@loccoberrylifestylediary)
「ももの甘さが舌先に広がり、濃厚なケーキ」と日本産ももを使ったシャトレゼのケーキの感想を投稿



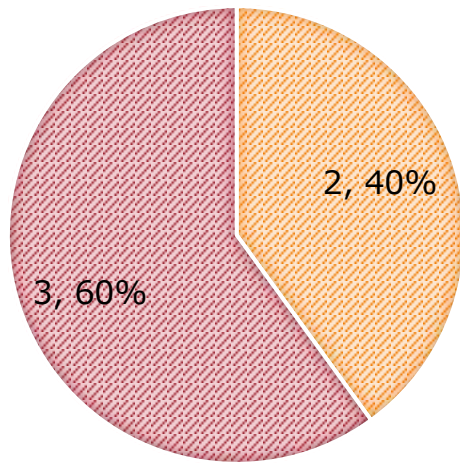
IV. 日本産青果物に対する印象や国ごとの特徴

MY

- 見た目の良さやパッケージについての評価は高い一方で、新鮮さ、味の面での不満足との評価が他国よりも少し目立つ
- 新鮮さに関しては、半数以上がニュートラル以下の評価となっており、現地での鮮度管理に課題がある可能性
- 他方、価格の評価としては、品質や日本産購買においては、妥当とする意見が多数を占めた

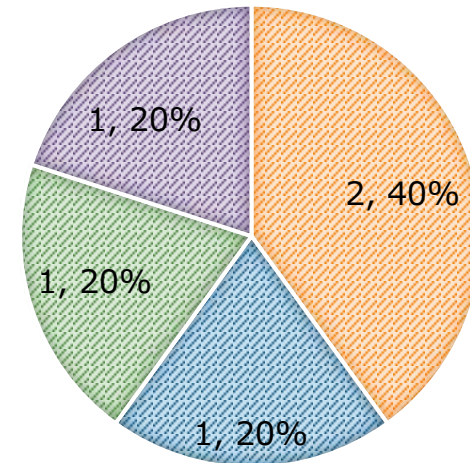
見た目が美しい

非常に共感できる 共感できる どちらともいえない
共感できない 非常に共感できない



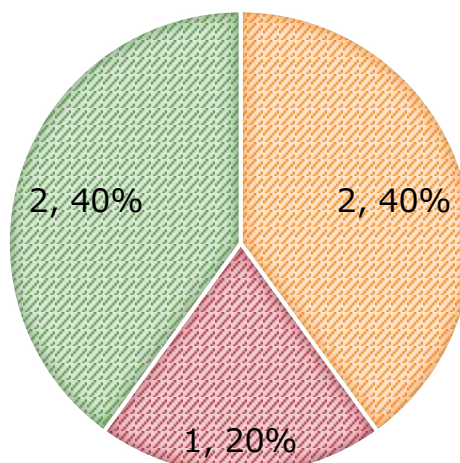
新鮮であり、ダメージがない

非常に共感できる 共感できる どちらともいえない
共感できない 非常に共感できない



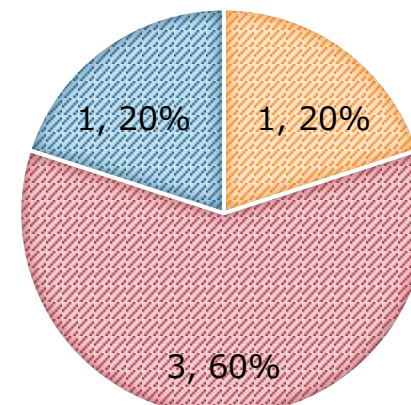
おいしさ

非常に共感できる 共感できる どちらともいえない
共感できない 非常に共感できない



パッケージのデザインがよい

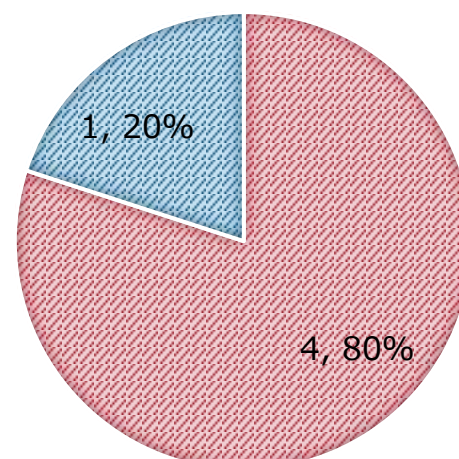
非常に共感できる 共感できる どちらともいえない
共感できない 非常に共感できない



N=5

価格は適切である

非常に共感できる 共感できる どちらともいえない
共感できない 非常に共感できない





以下、JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報（ベトナム）」より、青果物に関する項目をまとめた内容

味覚、嗜好上の特徴	・北部はあっさりした味、中部は辛い味、南部は甘く濃い味を好む ・麺類、なべ料理が多く、日本と同様、だし・旨味を重視 ・多くの仏教徒が毎月旧暦1日と15日に菜食をするため、菜食になじみがある ・メイドインジャパンの信頼性は高い。生鮮果物ど、日本産品は概ね好評。しかし、日本食品の塩味・甘味には敏感に反応するため注意が必要
制度的制約	・日本からの植物由来食品の輸入では、植物検疫で有害動植物危険度解析 (PRA) が必要。りんご・なし・みかん以外の生鮮果実については植物検疫上、二国間合意による検疫条件の設定がなく輸入不可 ・PRA規制の対象外となる品目：レタス(生鮮)、しめじ(生鮮)、製茶(乾燥)、しいたけ(乾燥)、柿チップ(乾燥) ・日本産りんご、なし、温州みかんの生果実が輸入解禁。ただし、植物防疫所が登録した生産園地における病害虫に対する検疫措置などの条件が付されている。りんご栽培時の袋掛けは免除 ・自社輸入をする小売はタイのCentral group (Tops Market) と現地系Annam gourmet等と一般的ではない認識 ※規制に関しては、変更されることがあるので実際に輸出する前にその内容を確認することが必要です。
商流・物流・商習慣	・南北の商圈分断により、地場企業はパートナーを探す必要がある。日本食材を扱うインポーターが小売・外食に直接卸す他、2次取次店も増加。スーパーマーケットは自社輸入を選ぶ傾向 ・南部ではコールドチェーンが進展中。一方、個人商店では冷蔵品の取扱いが不十分。ホーチミン市内ではトラック制限により温度管理に課題 ・ベトナムで最も重要な祝祭日となっているテト(旧正月) に贈答品を贈る習慣がある。食安全・健康意識高まり、オーガニック食品を取り扱う小売店やレストランが増加。国内全体でみると、モダントレード (MT) よりトラディショナルトレード (TT) の比率が高い
外食・小売等の状況	・都市部ではモダントレード(コンビニ・スーパーなどの大手小売り) 成長が年々増えている ・地方ではBach Hoa Xanhの出店で売上増 ・フードデリバリーサービスの市場成長に伴い、日本食レストランでもデリバリーに特化したゴーストレストランが出始めている
日本食普及状況等	・ホーチミン市やハノイ市などの都市部で日本食の浸透度は高い ・日系飲食チェーンが多く進出しており、日本食材店や卸業者を通じて業務用食材が流通している ・ベトナム企業による日本食品や、現地生産または第三国からの輸入による類似食品なども流通。日本より早く進出し、より安価な韓国食品が認知度、販売チャネル数で先行している ・日系コンビニエンスでは日本人街や外国人街の一部の店舗のみ日本産食品を多く扱っている ・日本食品スーパーは富分(ハノイ)、AKURUHI(両都市)、業務スーパー(両都市)にあり、特別ホーチミンに限定はされていない ・ホーチミン市を中心に日本産商品販売店やスーパーマーケットが存在し、日本産食品が取り扱われている ・日本産のりんごやなしは、日本より早く輸入される国のものが安価で流通している

出典：JETRO「農林水産物・食品 国別マーケティング基礎情報」（ベトナム）



ベトナム

量販店・試食調査結果

参照：為替レート：1JPY = 167VND
(2023年7月25日)

■ 7月に現地では日本産青果物の販売は確認することができなかった

質問項目		回答					
		モニター 1（ホーチミン在住）		モニター 2（ホーチミン在住）		モニター3（ハノイ在住）	
購入店舗名 (アンケート場所)		Annam gourmet	Mekong gourmet	Lotte mart	Farmers market	Annam gourmet	Winmart
店舗属性		ベトナム系	ベトナム系	韓国系	ベトナム系	ベトナム系	ベトナム系
日本青果物の販売状況	りんご	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産
	ぶどう	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産
	もも	販売なし	販売なし	他国産	他国産	他国産	他国産
	かんきつ	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産
	柿	販売なし	販売なし	他国産	他国産	他国産	他国産
	梨	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産	他国産
	いちご	他国産	販売なし	他国産	他国産	他国産	他国産
	かんしょ	販売なし	販売なし	他国産	他国産	他国産	他国産
	メロン	他国産	販売なし	他国産	他国産	他国産	他国産
	長芋	販売なし	販売なし	販売なし	販売なし	販売なし	販売なし

■ モニターが現地で購入した他国産青果物や日本産青果物加工品は以下の通り

質問項目		回答				
		モニター 1（ホーチミン在住）		モニター 2（ホーチミン在住）		モニター3（ハノイ在住）
購入店舗名 (アンケート場所)		Annam gourmet		Lotte mart	Farmers market	Annam gourmet
店舗属性		ベトナム系		韓国系	ベトナム系	ベトナム系
購入青果の概要	購入した青果物 (当日)	韓国産梨	うんしゅうみかんジュース ストレート	アメリカ産 りんご	ベトナム産 メロン	韓国産梨
	品種	不明	-	Envy	市場メロン	不明
	産地	韓国	日本	アメリカ	ベトナム	韓国
	購入価格	119,000VND/kg (711円) (販売単位：kg)	140,000VND (952円) (500ml)	179,000VND (1,070円) (販売単位：6玉入)	126,000VND (754円) (販売単位：kg)	159,000VND (952円) (販売単位：3玉入)
	糖度	10%	-	15%	12%	12%

- 一次加工品として伯方果汁株式会社(愛媛県)の100%果汁ジュースが販売されていた。それ以外に該当する商品の販売は確認できなかったが、参考としてそれらの画像も添付する
- 日本産青果物の販売は見られなかったが、日本産青果物を使用した加工品については流通している

対象商品



名称：うんしゅうみかんジュースストレート
製造者：伯方果汁株式会社
愛媛県今治市伯方町木浦甲451番地

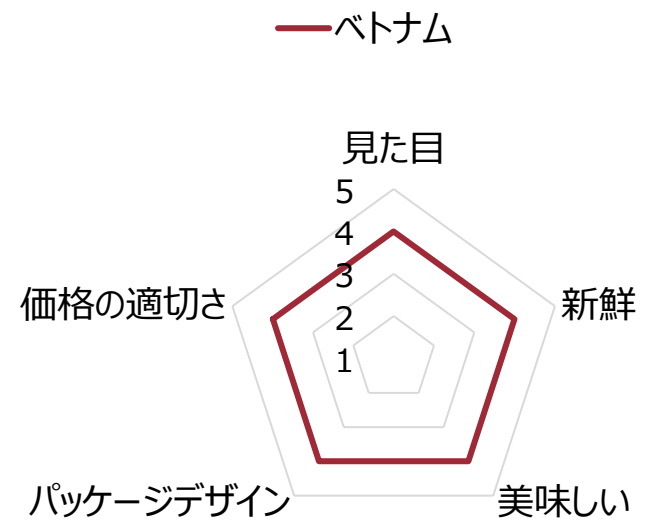
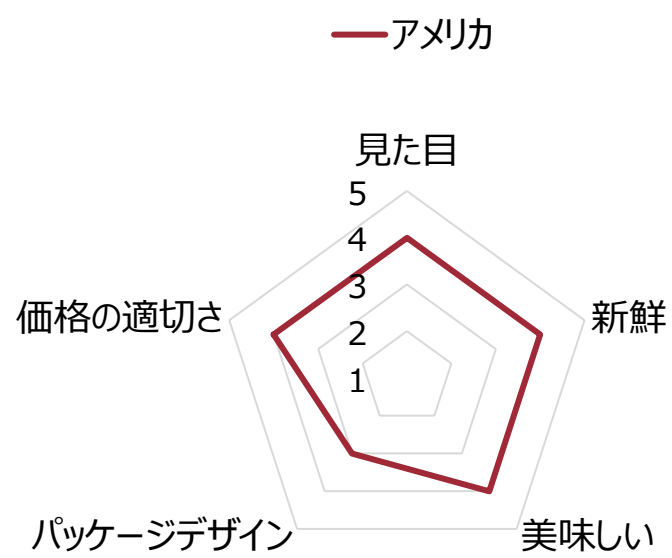
対象外商品 (参考)



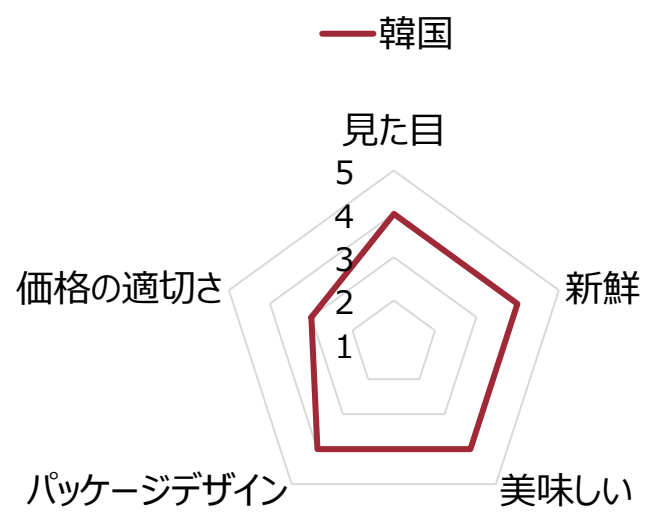
木村飲料(りんごサイダー) / KAGOME (野菜生活)
SANGARIA (フルーツソーダ)/ Calbee (フルグラ)
小岩井 (純水ぶどう・りんご)



Ⅱ.同一外国産との比較 (消費者コメント) –外国産青果物及び日本産青果物加工品 VN



品種	Envy（アメリカ）	市場メロン（ベトナム）
写真		
価格	179,000VND (1,070円) (販売単位：6玉入)	126,000VND (754円) (販売単位：kg)
糖度	10.0%	12.0%
コメント	仮に日本産があるとすれば日本産を買いたい。背景としては日本産は減農薬や無農薬、また品質が良いと思うから	衛生面や日本の厳しいルールを信頼しているので日本産が買うことができるのであれば日本産を選びたい



品種	梨（韓国）	うんしゅうみかんジュースストレート
写真		
価格	159,000VND (952円) (販売単位：3玉入)	140,000VND (952円) 500ml
糖度	12.0%	- %
コメント	日本産は多様性、また美しい見た目、長く保存できるイメージがあります	パッケージは綺麗だと思いました。味については苦味、酸味が強すぎず飲みやすく美味しいです



- 外国産青果物はスペシャルオファー(割引)が店頭で実施されており、またENVYりんごについてはFarmers marketにて特設ブースを設けて販売が行われていた。試食を行うためのマネキンは手配されていなかった
- 調査のタイミングでディスカウントオファーがあった調査対象青果物とその原産国・価格は以下のとおりである

項目	①	②	③	④
原産国	ニュージーランド	オーストラリア	オーストラリア	アメリカ
青果物	グリーンアップル	マンダリンオレンジ	オレンジ	ぶどう
販売価格	105,000VND/kg (628円) ↓ 95,000VND/kg (568円)	99,000VND/kg (592円) ↓ 89,000VND/kg (532円)	89,900VND/kg (538円) ↓ 69,000VND/kg (413円)	179,000VND/kg (1,071円) ↓ 109,000VND/kg (652円)
販売場所	Annam gourmet	Winmart	Winmart	Farmers market



項目	⑤	⑥	⑦	⑧
原産国	韓国	南アフリカ	ニュージーランド	ニュージーランド
青果物	シャインマスカット	フジりんご	りんご(Queen)	りんご (GALA)
販売価格	599,000VND/kg (3,586円) ↓ 499,000VND/kg (2,988円)	169,000VND/kg (1,011円) ↓ 149,000VND/kg (892円)	72,900VND/kg (436円) ↓ 62,900VND/kg (376円)	59,000VND/kg (353円) ↓ 55,900VND/kg (334円)
販売場所	Lotte mart	Lotte mart	Lotte mart	Farmers market

参照：

為替レート
1JPY = 167VND (2023年7月25日)

- 日系のシャトレーズにてふじりんご(日本産か不明)を使ったアップルパイが販売されていた。その他の外食では日本産青果物を使った商品は見つかることができなかった



7月は現地にて日本産青果物の取り扱いが無い状態であった。そのため各モニターには調査品目の外国産の調査を実施してもらっている。日本産との比較ができないため数値での評価はできないが、各品目にて日本産の高い品質については好印象であり、購入できるのであれば日本産青果物を購入したいとコメントがあった。また小売店にて取扱のあった日本産加工品(うんしゅうみかんジューストレート)の試食を行ったが、パッケージも味についても好評であった

加工品については今回5ブランドの小売店にて調査を行っているが、対象となる加工品は1商品のみ確認することができた。外食調査では6ブランドのレストラン・カフェを調査したが、日本産であろう青果物を使った商品を販売している店舗は1件であった。現時点では日本産青果物を使った加工品、外食でのメニューは少ないことが推測されるが翌月以降も継続して調査を行っていく

日本産青果物を試食した様子、外食のレストランやカフェの購入店舗の情報や、商品についての説明などを紹介
※いいね・コメント数は2023年7月31日時点

量販小売店舗より購入後自宅での喫食体験のSNS情報配信



いいね 3件



いいね 2件

うんしゅうみかんジュースストレート Instagram (@han.akiko.dang)
果汁100%、Annam gourmetで購入した背景、試飲した説明を記載

赤ぶどうジュース Instagram (@lilik_cooking)
新しい果汁100%の日本のジュースを試してみるをコメントがあり

日本産青果物利用した外食レストラン・カフェ店舗のSNS情報配信



いいね 1件



ふじりんごパイ Instagram (@han.akiko.dang)
シャトレーゼの併設カフェにてりんごパイを試食した説明を記載